

## 「運動人口率」自治体間で競う

未病の3本柱のひとつである「運動」を通じた健康づくりに返子市が力を入れている。5月の最終水曜日に全国一斉に行われる住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」に5年前から参加。人口が同規模の自治体と住民の参加率を競うもので、今年は沖縄県豊見城市と対戦する。

チャレンジデーは午前0時から午後9時までに15分以上継続して運動をした住民がエントリー。敗れた場合、対戦相手の市旗をメインボールに1週間掲揚するユニークなルールがあり、今年は県内では返子市、座間市、湯河原町など3市7町、全国では130の自治体に参加する。5度目の挑戦となる返子市。昨年は広島県三次市と対戦し、初勝利を飾った。参加率は40・9%で37・5%だった三次市を上回った。

市内でのチャレンジデー認知度も徐々に高まっている。2回目以降、参加率は増加しており、「地域の方々の協力もあって、当初よりも浸透した。スポーツ振興だけでなく、市民が未病に関心を持つきっかけにもなるのでは」と市文化スポーツ課。今年も市体育協会などと協働でラジオ体操やヨガ、ダンス、子ども向けのイベントなど様々な企画を用意して



揃いのTシャツを着て参加を呼び掛ける関係者ら（=市提供）

おり、「昨年の参加率を更新して今年も勝利を目指したい」としている。今年の実施は5月25日（水）。参加は自己申告制で名前と活動内容を電話やファクス、メールなどで市に伝える。エントリーは1人1回まで、競技だけでなく、条件を満たしていれば通勤や買い物でも応募できる。

2016年5月5日 木曜日  
タウンニュース

5月の最終水曜日に全国で一斉に行われる住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」。人口が同規模の自治体と参加率を競うもので、5年連続の出場となる返子市は沖縄県豊見城市との対戦が決まった。

## チャレンジデー 対戦相手は豊見城市

チャレンジデーは実施日の午前0時から午後9時までに15分以上継続して運動した住民の参加率を競う。敗れた場合、対戦相手の市旗をメインボールに1週間掲揚するルールがあり、今年県内では返子市、座間市、湯河原町など3市7町、全国では130の自治体に参加する。返加は自己申告制で名前と活動内容は電話やファクス、メールなどで市に伝える。エントリーは1人1回まで。条件を満たしていれば通勤や買い物でも応募で今年も市体育協会など市内団体と協働で全39企画を用意。午ける。問合せは市文化スポーツ課 046・872・8157

2016年5月13日 金曜日  
タウンニュース



フィナーレ（EZ DO DANCERCIZE）

**主 催**

松田町チャレンジデー実行委員会 (委員長 本山博幸)  
教育委員会生涯学習係

〒 258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 2078  
松田町民文化センター

TEL : 0465-83-7021 FAX : 0465-83-7025

**結 果**

人 口 : 11,441 人 神奈川県松田町 ○  
参加者数 : 8,917 人 VS  
参加率 : 77.9% 秋田県羽後町 ●  
取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ①運動しよう! in 寄小中学校(寄小中学校グラウンド)
- ②運動しよう! in 松田小学校(松田小学校グラウンド) 662 人
- ③運動しよう! in さくら保育園(松田さくら保育園) 265 人
- ④運動しよう! in 松田幼稚園(松田幼稚園) 249 人
- ⑤チャレンジ!パークゴルフ(川音川パークゴルフ場) 94 人
- ⑥集まれ!フラガール&フラボーイ  
頑張るばい!熊本・大分~熊本・大分応援し隊 from 松田町~  
(松田町体育館) 56 人  
・「松田町のパワー(元気)を熊本・大分へ」をサブテーマに掲げ、被災者、被災地の一日も早い復興を願い、スポーツを通じて、熊本県、大分県を応援しました。実行委員会が用意したプログラム会場で、義援金を受け付けし、ファイナルイベントとして「頑張るばい!熊本・大分」を開催しました。そこで、参加者に熊本県、大分県の特産品をプレゼントし、熊本弁ラジオ体操、熊本県、大分県産豪華景品が当たる○×クイズも行いました。

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署/健康づくり担当部署/福祉担当部署/観光担当部署/総務担当部署/役場内のすべての部署をいくつかに分けて、その中から代表として実行委員を選出/スポーツ推進委員協議会/体育協会/総合型地域スポーツクラブ/商工会・青年会議所/自治会・町内会

**メディア**

神静民報/湘南ケーブルテレビ/タウンニュース

**広報・周知**

担当部署以外のイベントや会議等でもチラシの配布や参加の声掛けをしたり、5月中旬に開催された酒匂川統一美化キャンペーンに実行委員会として参加して、チャレンジデーのPRをしました。また、チャレンジデーの2週間前から駅前等に朝や夕方立ち、ポケットティッシュやチラシの配布や参加の声掛けをしました。チャレンジデー当日も集計ボックスを持って、駅前や人通りが多い場所へ行き、参加の声掛けをしました。

**製作物**

チラシ8,000枚/ポスター200枚/大型横断幕1枚/横断幕(その他)56枚/のぼり100本/Tシャツ74枚/ポケットティッシュ1,582個

**実施効果**

今年度のチャレンジデーでは、実行委員会メンバーに自治会長連絡協議会や松田町商工振興会を新たに加えて、自治会や各種団体等からさらなる協力をいただき、チャレンジデーを通じて町が一丸となることができました。また、チャレンジデーをきっかけに、新たなスポーツ団体や総合型地域スポーツクラブ内で新しい教室が出来たりして、運動やスポーツの習慣化につながっています。普段、挑戦できないスポーツを行うことが出来て楽しいとの声もいただいております。恒例のイベントとして認知度も高まっています。

**担当者から**

3回目の挑戦であり、そろそろ勝ちたいという町全体の熱い気持ち、今回の結果につながったと思います。今後もチャレンジデーのみならず、普段から運動やスポーツに取り組んでいただけるようにして、ずっと健康で元気な松田町を目指します。



運動しよう! in 町体育館



朝から元気!ラジオ体操

松田町が77%の好結果

種目増やし声掛け拡大

25日に開かれた全園規模のスポーツイベント「チャレンジデー」は、東西地域から大井、松田、山北、開成、真鶴、湯河原の6町が参加。このうち足柄上郡

掲揚された旗の下に並び松田町職員ら。中央が本山町長



参加率 77.9%

の4町はそろって勝利の4町はそろって勝利の4町はそろって勝利... 目出度で、大台の80%まであと二歩というところまで来ましたが、結果、町は要因について、さまざまな創意工夫が功を奏したと振り返る。

プログラムが10種目増え、参加呼びかけの範囲も拡大。参加率集計のボックス設置箇所を増やし、チャレンジデー実行委員会メンバーが町内各地を駆け回り、少しでも運動をした人は紙を入れてください」と、道行く人たちに声をかけた。

【大井町対青森県藤崎町】参加率57.6%で大井町の勝利(人口1万7280人、参加者952人)。藤崎町は参加率50.7% (人口1万5452人、参加者7840人)。

【松田町対秋田県羽後町】参加率77.9%で松田町の勝利(人口1万1441人、参加者8917人)。羽後町は参加率51.7% (人口1万5948人、参加者8238人)。

【山北町対北海道別市】参加率59.6%で山北町の勝利(人口1万1111人、参加者6622人)。別市は参加率35.1% (人口1万4940人、参加者5244人)。

【開成町対北海道深川市】参加率60.6%で開成町の勝利(人口1万7165人、参加者1万409人)。深川市は参加率56.5% (人口2万1882人、参加者1万2369人)。

【真鶴町対岩手県葛巻町】真鶴町の参加率は58.7% (人口7713人、参加者4530人)で、葛巻町が勝利した。同町の参加率は42.9% (人口6658人、参加者2844人)。

自治体が住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)が、今年も25日に開催される。開催を前に10日、県内から参加する10市町の首長らが、県庁で決起集会を開いた。

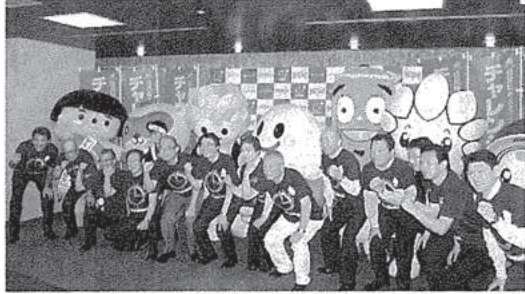
3年、住民の健康づくりを目的に始まった。人口規模のほぼ同じ自治体が毎年5月の最終水曜、午前0時、午後9時に15分以上のスポーツをした住民の参加率を競う。今年も全国130自治体が参加。県内からは遠子、伊勢原、座間の3市と松田町の本山博幸町長は

「当日は参加率60%を目指している。勝ちにこだわりたい」と意気込んだ。黒川雅夫副知事も「10市町全てが勝ってほしい。ぜひ健康寿命日本一につなげて」とエールを送った。

【鈴木昌昭】

住民のスポーツ参加を

チャレンジデー 10市町が決起集会



勝利を目指してガッツポーズする参加市町の首長ら

2016年5月11日 水曜日 神奈川新聞

集まれ！フラガール & フラボーイ

## 主 催

真鶴町チャレンジデー実行委員会 (委員長 宇賀一章)

真鶴町教育委員会教育課

〒 259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩 172-8

真鶴町民センター

TEL : 0465-68-1131 FAX : 0465-68-1551

## 結 果

人 口 : 7,713 人 神奈川県真鶴町 ●  
参加者数 : 4,530 人 VS  
参加率 : 58.7% 岩手県葛巻町 ○  
取得メダル : 銀

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①ウォーキング(真鶴町内) 2,532 人
  - ・小学生から提案のあったごみ拾いウォーキングを町内で実施しました。
  - 町民の参加者を増加させるために、小・中学校及び自治会の回覧でごみ袋全戸配布しました。また商業施設や商店街でチラシ配りと共にごみ袋を配付し周知を図りました。
  - 小学生は授業の一環として町内ごみ拾いウォーキングを実施しました。
- ②踊り・体操(真鶴町立体育館ほか) 919 人
- ③ニュースポーツ(フライングディスク・ファミリーバドミントンなど) (真鶴町立体育館ほか) 42 人
- ④その他(筋力トレーニングなど) (真鶴町内) 1,037 人

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／総務担当部署／体育協会／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／事業所・企業／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／PTA 連合会／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ

## メディア

湯河原新聞／神静民報

## 広報・周知

地域新聞による広報によって、町民の意識付けを行うことができました。

ウェブサイトと Facebook を活用し、チャレンジデーの目的と真鶴町の実施計画を詳しく伝えることができました。

自治会回覧や新聞折り込みでチラシを配布し、より多くの町民に周知することができました。

## 製作物

チラシ 15,000 枚／ポスター 100 枚／大型横断幕 1 枚／横断幕(その他) 7 枚／のぼり 240 本／T シャツ 120 枚／ポケットティッシュ 2,000 個

## 実施効果

ウォーキングによる参加者が昨年よりも増え、町民の健康に対する意識が高まってきていると感じました。

## 担当者から

連続してチャレンジデーを実施することで、今後も継続して運動をする町民が増えていくことを期待します。



開会式 すず割



はつらつ元気塾の体操



閉会式

## 葛巻町

# 「申し分ない」対戦相手

## 「勝利狙い」参加率70%を目指す



### チャレンジデー

役員に奮起を促す宇賀一章実行委員長

「チャレンジデー2016」で真鶴町の対戦相手が岩手県・葛巻町と決まった。本番の「5月20日」に向け、実施体制や事業計画、種目などを協議する実行委員会がこのほど開かれた。え、大台の70%と設定する③案が示された。

住民総参加型を標榜 議会議長、青木剛副町長が岩手県・葛巻町と決まった。本番の「5月20日」に向け、実施体制や事業計画、種目などを協議する実行委員会がこのほど開かれた。え、大台の70%と設定する③案が示された。

「チャレンジデー」で真鶴町の対戦相手が岩手県・葛巻町と決まった。本番の「5月20日」に向け、実施体制や事業計画、種目などを協議する実行委員会がこのほど開かれた。え、大台の70%と設定する③案が示された。

「チャレンジデー」とは、主権でチャレンジデーの開催を通じ、実施目標に向けた切っ掛けと連携を促す。実施目標づくりにスポーツによる関係性を築きスポーツ振興の健康づくり、興に開く施策やプロ地域活性化を目的とし、住民総参加型イベントとしたい趣旨もある。

2016年3月20日 日曜日 湯河原新聞

## チャレンジデー 真鶴「銀」

# 来年も頑張ろう！

## 閉幕セレモニーよさこい踊り絆強く



オール真鶴での参加協力を御礼する宇賀町長



住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー2016」が25日（土）真鶴市民センターで開幕した。全国128の自治体（岩手県・葛巻町）と対戦し、参加者数14,858人、参加率72.9%を達成した。主メダル（金）は真鶴町（公財）の4,530人、副メダル（銀）は葛巻町の4,530人、銅メダル（銅）は葛巻町の4,530人、参加率77.7%を達成した。真鶴町は、多くの企業が協賛する中、市民の協力を得て、元気な真鶴を再構築し、健康増進とスポーツ振興を図る熱い思いを込めて開催した。

34人、平均参加率54.3%の結果だった。昨年は続く2回目の参加となった真鶴町は、一貫して多くの企業が協賛し、市民の協力を得て、元気な真鶴を再構築し、健康増進とスポーツ振興を図る熱い思いを込めて開催した。



閉幕セレモニーでは、ワウワに盛り上げるよさこいダンス「ほんごころ」が行われた。真鶴町長、副町長、議員らも参加し、参加者数14,858人、参加率72.9%を達成した。主メダル（金）は真鶴町（公財）の4,530人、副メダル（銀）は葛巻町の4,530人、銅メダル（銅）は葛巻町の4,530人、参加率77.7%を達成した。真鶴町は、多くの企業が協賛する中、市民の協力を得て、元気な真鶴を再構築し、健康増進とスポーツ振興を図る熱い思いを込めて開催した。

閉幕セレモニーでは、ワウワに盛り上げるよさこいダンス「ほんごころ」が行われた。真鶴町長、副町長、議員らも参加し、参加者数14,858人、参加率72.9%を達成した。主メダル（金）は真鶴町（公財）の4,530人、副メダル（銀）は葛巻町の4,530人、銅メダル（銅）は葛巻町の4,530人、参加率77.7%を達成した。真鶴町は、多くの企業が協賛する中、市民の協力を得て、元気な真鶴を再構築し、健康増進とスポーツ振興を図る熱い思いを込めて開催した。

2016年5月27日 金曜日 湯河原新聞

## 主 催

山北町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 湯川裕司)

保健健康課 健康づくり班

〒 258-0113 神奈川県足柄上郡山北町山北 1971-2

山北町健康福祉センター

TEL : 0465-75-0822 FAX : 0465-76-4592

## 結 果

人 口 : 11,111 人 神奈川県山北町 ○

参加者数 : 6,622 人 VS

参加率 : 59.6% 北海道芦別市 ●

取得メダル : 金

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①部活動(山北高校) 586 人
- ②大縄跳び(川村小学校) 420 人
- ③オープニングイベント(生涯学習センター) 328 人
- ④ 8 の字大縄(山北中学校) 267 人
- ⑤ファイナルイベント(生涯学習センター) 173 人

・ オープニングやファイナルは、理事者も参加して行われるチャレンジデーのイベントであり町内の全園児に参加依頼をして風船飛ばしを行いイベントを盛り上げています。

また、広く町民に呼びかけて、健康普及員・スポーツ推進員等に協力をいただき、誰でもが手軽に楽しめる長生きサンバやラジオ体操等も行っています。

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／健康づくり担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会／観光協会／健康普及員協議会／文化団体連絡協議会

## 広報・周知

- ・ 周知期間を長く取るため前回より早めにのぼりや横断幕の掲揚を行いました。
- ・ 広報誌の大きさを A4 から A3 に変更しました。

## 製 作 物

チラシ 6,000 枚／ポスター 200 枚／大型横断幕 3 枚／のぼり 140 本／Tシャツ 410 枚／ポケットティッシュ 2,000 個

## 実施効果

「みんなで目指そう金メダル」のスローガンを掲げ、ひとつの目標に向かい、団体・地域間での連携や協力により連帯感が生まれました。

## 担当者から

2 回目の挑戦で金メダルを受賞することができました。これは、昨年よりも回収箱を増やしたり広報誌を変えたりとした結果かと思っています。

また、住民の方にもチャレンジデーが浸透してきているのかなと感じています。

これを機会に住民の方々が日常生活の中で常に運動をするきっかけになればと思っています。



オープニングイベント



パークゴルフ



大縄跳び

**Let's Try 15min** 自主チャレンジってどうするの？  
個人・団体・企業でのチャレンジ ▶ 0:00~21:00

**楽しく15分運動してください!** **職場で! 自宅で! 町内全域で!**

スポーツ、散歩、ジョギング、なわとび、ラジオ体操、ヨガ、フラダンス、ゴミ拾い、徒歩、自転車通勤・通学、ハイキング、農作業 等々。町内屋内外で15分以上の身体活動(運動)なら何でもOKです!

**自主チャレンジはご報告を!**  
※プログラムや自主チャレンジは、複数回参加、実施していただいても、参加報告は1人1回です。

**1 お電話で**

お電話で参加内容を報告してください。

**2 スマートフォンパソコンで**

山北町HPの「参加報告フォーム」に入力して送信してください。

**3 投函 FAX で**

「自主チャレンジ参加報告書」に記入して投函、または、FAX で送信してください。

<回収箱設置場所> ※場所により設置時間が異なりますのでご注意ください。  
① 9:00~17:00 岩間支所、三保支所、岸辺館園、ふるさと交流センター、社会福祉協議会、とれたて山北やん、農業センター直売所、信玄館  
② 9:00~19:00 生涯学習センター、健康福祉センター、小田原百貨店山北店、サークル山北町店、サンクス山北店、ニューマツキアパレルストア山北駅前店(コミュニティセンター)

**山北町チャレンジデー実行委員会**  
<事務局> 保険健康課 ☎0465-75-0822 生涯学習課 ☎0465-75-3649 FAX 0465-75-3661  
<http://town.yamakita.kanagawa.jp/> <山北町で検索>

切り取り線 (FAX の場合は切り取り不要)

---

**FAX 番号：75-3661 山北町チャレンジデー 2016 自主チャレンジ参加報告書**

自主チャレンジの内容・種目	個人名または団体・代表者名	参加人数
(例) ウォーキング、農作業、ラジオ体操 など	(例) 山北太郎、〇〇会社、〇〇サークル など	名

※プログラムや自主チャレンジは、複数回参加、実施していただいても、参加報告は1人1回です。

**山北町 VS 北海道 芦別市**

**2016 チャレンジデー**

当日山北町内にいる方なら誰でも参加できます!  
<在住・在勤・通学・観光客の方でもOK! 老若男女問いません>

**5/25**  
**水曜日 0:00~21:00**

**みんなで運動 楽しくスポーツ 15分!**

イベント参加でチャレンジ

個人や友達と自主チャレンジ

★ オープニングイベント 9:00~ ★ ファイナルイベント 19:00~  
<開催場所：生涯学習センター>

チャレンジデー PR 用チラシ (表面)

**Chareng Day 2016 Yamakita vs Ashibetsu**

**Let's Try 15min** 山北町内で運動やスポーツをした人の数を芦別市と競います。

毎年5月の最終水曜日に人口規模がほぼ同じ自治体で、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の「参加率 (%)」を競い合い、敗れた場合は、対戦相手の自治体の旗を自分のメインボールに1週間掲出するというユニークなルールで行われる住民総参加型のスポーツイベントです。昨年は残念ながら、僅差で大規模に敗れ、役場のメインボールには大規模の町旗がはためきました。今年はなんと山北町旗を北海道の空に掲げましょう!

**参加率で勝負です!**  
55%達成で金メダルを獲得しましょう!  
(昨年は47.2%で銀メダル)

チャレンジデーは、住民が運動やスポーツを通じて健康に対する意識を高めるきっかけづくりになります。運動やスポーツの習慣化を目標しましょう!

**オープニングイベント**

① ラジオ体操・長生きサンバ

9:00~9:30  
当日受付

保険健康課 ☎75-0822  
スポーツ推進委員、健康委員及委員他

② ストレッチ

10:00~10:30  
13:30~14:00  
当日受付

生涯学習課 ☎75-3649  
生涯学習センター登録団体

③ リズムに合わせて歩きましょう

10:30~11:00  
13:30~14:00  
当日受付

生涯学習課 ☎75-3649  
生涯学習センター登録団体

④ 玄米エネルギータンヘル体操「タンヘル日本の歌」

11:00~11:30  
14:00~14:30  
当日受付

生涯学習課 ☎75-3649  
生涯学習センター登録団体

**ファイナルイベント**

⑤ リズム体操「クッキング」

11:30~12:00  
14:30~15:00  
当日受付

生涯学習課 ☎75-3649  
生涯学習センター登録団体

⑥ ソーラン山北

19:00~20:00  
当日受付

保険健康課 ☎75-0822  
ソーラン山北実行委員会

⑦ 自衛術体操(健康体操)

9:30~10:15  
事前申込

保険健康課 ☎75-0822  
山美会

**同時開催イベント**

第3回町民パークゴルフ大会  
9:00~12:00 (事前申込)  
パークゴルフ場 ☎75-3789  
生涯学習課 ☎75-3649  
参加費(会費、服装代等) 200円  
パークゴルフ協会

● 老連大会(会費のみ)  
● パークゴルフ場無料開放

13:00~16:00 (当日受付)  
社会福祉協議会 ☎75-1294  
パークゴルフ場 ☎75-3789  
老人クラブ連合会、生涯学習課

チャレンジデー PR 用チラシ (裏面)

## 主 催

湯河原町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 富田幸宏)  
 湯河原町 保健センター

〒 259-0392 神奈川県足柄下郡湯河原町中央 2-2-1  
 湯河原町 保健センター

TEL : 0465-63-2111 FAX : 0465-63-2940

## 結 果

人 口 : 25,978 人 神奈川県湯河原町 ●  
 参加者数 : 9,045 人 VS  
 参加率 : 34.8% 北海道美唄市 ○  
 取得メダル : 銀

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①早起きウォーキング他(ウォーキング) (町内各所) 1,684 人
- ②ラジオ体操(町内各所(町民グラウンド他)) 1,513 人
  - ・ オープニングセレモニー後に実施する他、町内各自治会等にご協力いただき実施している。
- ③長縄跳び(町内小中学校) 1,513 人
- ④ストレッチ(町内各所(ヘルシープラザ他)) 942 人
- ⑤ゆたぼんダンス(町内各保育園他) 267 人

## 実行委員会の構成団体

町長／副町長／スポーツ推進委員協議会／体育協会／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／教育委員会／観光協会／旅館協同組合

## メディア

相豆新聞／湯河原新聞／伊豆急ケーブルネットワーク／FM 熱海湯河原

## 広報・周知

町広報紙・新聞折り込みチラシでの周知と街頭啓発活動として、駅前や商業施設でのチラシ配布を実施しました。

## 製作物

チラシ 31,000 枚／ポスター 100 枚／大型横断幕 1 枚／横断幕 (その他) 10 枚／のぼり 85 本／Tシャツ 115 枚／ポケットティッシュ 3,000 個／ペットボトルホルダー 793 個

## 実施効果

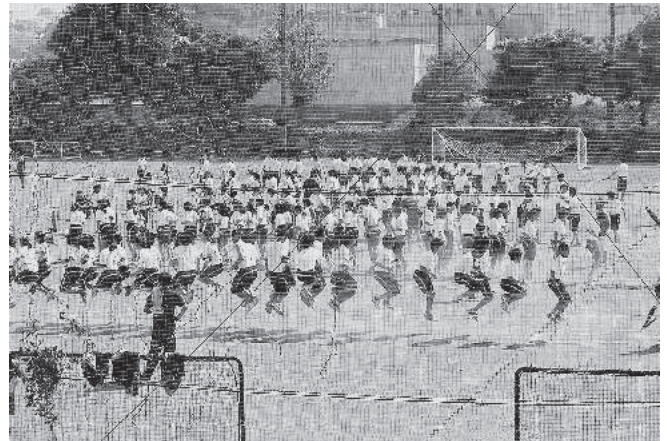
毎日の生活の中で運動をする、きっかけづくりになったと思います。



ラジオ体操



ゆたぼんダンス



長縄跳び



## 湯河原町と エールを交換 チャレンジデー健康誓う

無川スズキ財団が「チャレンジデー」の開催を主催する。湯河原町とエールを交換し、健康を誓う。チャレンジデーは、湯河原町とエールを交換し、健康を誓う。チャレンジデーは、湯河原町とエールを交換し、健康を誓う。

湯河原町とエールを交換し、健康を誓う。チャレンジデーは、湯河原町とエールを交換し、健康を誓う。チャレンジデーは、湯河原町とエールを交換し、健康を誓う。

湯河原町とエールを交換し、健康を誓う。チャレンジデーは、湯河原町とエールを交換し、健康を誓う。チャレンジデーは、湯河原町とエールを交換し、健康を誓う。

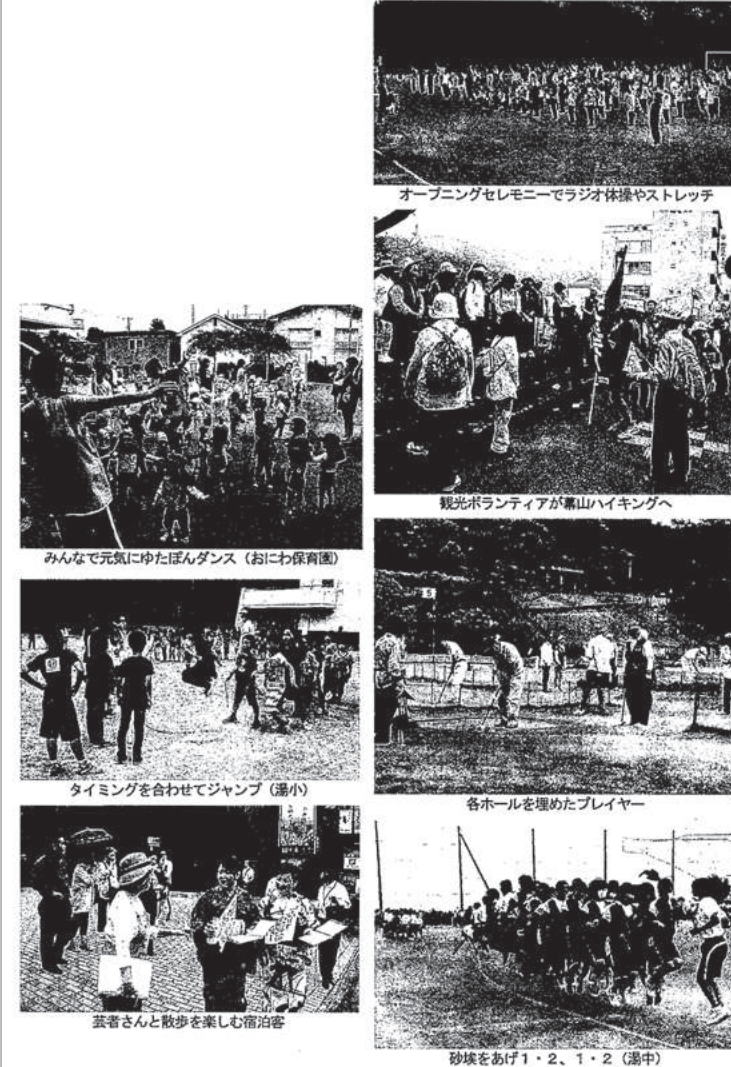
2016年5月17日 火曜日  
神静民報

## 湯河原町 金賞を目指して3回目の参戦 「チャレンジデー」に一丸 北海道美唄市と参加率競う

全国的な住民総参加型の健康・スポーツイベント「チャレンジデー」が、湯河原町で3回目の参戦を迎える。今年も、北海道美唄市と参加率を競う。金賞を目指して参加することや、町民が一体になって挑戦するなど、それぞれが目標を掲げている。

湯河原町は、人口2万3955人、体及び観光客らも約200人が集まると見込まれている。今年も、北海道美唄市と参加率を競う。金賞を目指して参加することや、町民が一体になって挑戦するなど、それぞれが目標を掲げている。

湯河原町は、人口2万3955人、体及び観光客らも約200人が集まると見込まれている。今年も、北海道美唄市と参加率を競う。金賞を目指して参加することや、町民が一体になって挑戦するなど、それぞれが目標を掲げている。



オープニングセレモニーでラジオ体操やストレッチ  
富田実行委員長挨拶  
観光ボランティアが霧山ハイキングへ  
各ホールを埋めたプレイヤー  
みんなで元気にゆたぼんダンス（おにわ保育園）  
タイミングを合わせてジャンプ（湯小）  
芸者さんと散歩を楽しむ宿泊客  
砂塊をあげ1・2、1・2（湯中）

金賞を目指して参加することや、町民が一体になって挑戦するなど、それぞれが目標を掲げている。今年も、北海道美唄市と参加率を競う。金賞を目指して参加することや、町民が一体になって挑戦するなど、それぞれが目標を掲げている。

湯河原町は、人口2万3955人、体及び観光客らも約200人が集まると見込まれている。今年も、北海道美唄市と参加率を競う。金賞を目指して参加することや、町民が一体になって挑戦するなど、それぞれが目標を掲げている。

湯河原町は、人口2万3955人、体及び観光客らも約200人が集まると見込まれている。今年も、北海道美唄市と参加率を競う。金賞を目指して参加することや、町民が一体になって挑戦するなど、それぞれが目標を掲げている。

2016年5月26日 木曜日 湯河原新聞

**主 催**

魚津市チャレンジデー実行委員会 (会長 村椿 晃)

魚津市教育委員会 生涯学習・スポーツ課

〒 937-0066 富山県魚津市北鬼江 313-2

魚津市役所第一分庁舎

TEL : 0765-23-1046 FAX : 0765-23-1052

**結 果**

人 口 : 43,089 人

富山県魚津市 ●

参加者数 : 21,670 人

VS

参加率 : 50.3%

鹿児島県指宿市 ○

取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

① チーム対抗長縄跳び大会(小学生の部) (市内小学校) 2,036 人

② 地区対抗ラジオ体操(市内小学校体育館等) 1,697 人

- ・ 当日 19 時 30 分に各地区で決定した会場に集まってラジオ体操を行い、その参加人数を同規模の地区間で競うイベント

③ チーム対抗長縄跳び大会(中学生の部) (市内中学校) 685 人

④ 市役所早朝ラジオ体操(市役所前公園) 206 人

⑤ 体育協会主催・健康運動イベント(ありそドーム等) 174 人

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／  
観光担当部署／総務担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／  
小学校(校長会)／中学校(校長会)／事業所・企業／商工会・青年会議所／  
自治会・町内会／婦人会

**メディア**北日本新聞／富山新聞／朝日新聞／北陸中日新聞／NICE-TV／  
ラジオミュー**広報・周知**

- ・ ケーブルテレビ等を積極的に活用し周知を図りました。
- ・ 各種団体の総会等大勢集まる場や各企業をまわり、参加の呼びかけ、チラシの配布等を行いました。
- ・ 魚津市全戸への回覧版、市内全小学校児童にチラシ配布し周知を図りました。
- ・ SNS を活用し周知を図りました。市や市長の Facebook で参加を呼びかけました。コメント等により市民の反応を知ることができました。

**製作物**

チラシ 10,000 枚／ポスター 250 枚／大型横断幕 1 枚／のぼり 50 本／Tシャツ 50 枚

**実施効果**

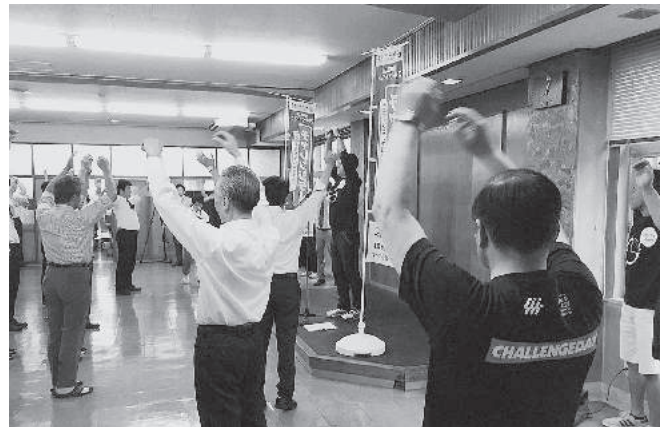
当日魚津市内の全小学校全児童により長縄跳び大会を開催しました。対戦方式にし、上位チームを表彰するなど盛り上がりました。

そして子どもから親へ家族内でチャレンジデーの周知が図られ、夜 19:30 からの地区対抗ラジオ体操でも、子どもから高齢者まで幅広い年齢層で多くの参加があり、大いに盛り上がりました。

その他各種イベントをきっかけに、その後も体育施設に通う人や会員が増えました。

**担当者から**

5 回目の実施であり、年々市民にも周知が図られ、参加率も順調に上がっており、今回は目標の 50% を達成することができました。しかし、数字を追いかけるのではなく、普段あまり体を動かさない人が友人等に誘われるなど当日の各種イベントに気軽に参加し、その楽しさに気づき、その後も継続して運動が習慣づいたり、サークルができることを第 1 の目的に、ひいては市民の健康寿命の増進などを目標に取組んでいきたいと考えております。



市役所早朝ラジオ体操



体育協会主催・健康運動イベント



体育協会主催・健康運動イベント



鹿児島県指宿市の豊留悦男市長と電話会談し、「チャレンジデー」の健闘を喜び合う魚津市の村椿晃市長＝同市役所で

チャレンジデー競う  
指宿市長に「エール」

電話で魚津市長

運動をした人の参加率を自治体間で競う二十五日の「チャレンジデー2016」を前に、魚津市の村椿晃市長が二十日、対戦相手である鹿児島県指宿市の豊留悦男市長と電話で健闘を喜び合った。

チャレンジデーは、毎年五月の最終水曜日の午前零時～午後九時に、十五分以上継続して運動した人の割合を競うイベントで、全国約百三十の自治体が参加している。魚津市の昨年の参加率は47・3％で茨城県行方市に敗北。通算成績は二勝二敗となった。

この日、村椿市長は指宿市の豊留市長に電話で「昨年の参加率は、指宿市(47・8％)に僅差で負けており、手ごわい相手だと思っています」と語り、両市長が「互いに市民に参加を呼び掛けて頑張りましょう」などとエールを交換した。(伊東浩一)

2016年5月21日 土曜日 北陸中日新聞



音楽に合わせ「エアロ」

魚津市では、市体育協会が各地で無料の運動教室を開き、大勢が参加した。ありそドームで開催された初心者向けエアロビクス教室「エアロ」は約50人が体験。音楽に合わせてステップを踏み、腕を回したり振ったりして楽しく運動した。

市総合体育館では小さいトランポリンを使った「トランボックス」、桃山運動公園ではテニスの教室があった。夜には一斉ラジオ体操を行い、13地区の住民が小学校などに集まり体を動かした。その他、各小学校で長縄跳び大会があり、約2千人が参加。市役所では職員約200人がラジオ体操をした。

魚津 スポーツのチャレンジデー 南砺

参加比率で勝負  
心地よい汗流す

1日の間にスポーツをした住民の比率を自治体同士で競う「チャレンジデー2016」が25日、全国の128市町村で行われた。県内では魚津市が50・3％で51・4％の鹿児島県指宿市に、南砺市は52・1％で68・7％の岐阜県羽島市にそれぞれ敗れた。参加者は心地よい汗をかき、スポーツの楽しさにあためて触れた。

2016年5月26日 木曜日 北日本新聞

指宿に負けた

全国の自治体間でスポーツをした人の参加率を競う二十五日の「チャレンジデー2016」で、魚津市は鹿児島県指宿市と対戦した結果、参加率50・3％と過去最高を更新したものの、51・4％の指宿市に敗れた。



魚津市役所屋上に掲げられた鹿児島県指宿市の市旗「魚津市役所」

チャレンジデーは、一日に十五分以上継続して運動をした人の参加率を競うイベントで、魚津市は人口四万三千八十九人に対し、二万一千六百七十八人が参加。一方、指宿市は人口四万二千八百十六人に対し、二万二千七十七人が参加した。負けた自治体は、勝者の旗を掲げるルールになっているため、魚津市役所屋上では十六日朝、市

教委職員が指宿市旗を掲げた。約一週間掲揚する。魚津市の通算成績は二勝三敗となった。市教委担当者は「市民の皆さんに頑張ってもらい、昨年の参加率(47・3％)を3割も上回っただけに悔しい。来年、再挑戦する機会があれば、さらに企業や団体に参加を呼びかけたい」と話している。(伊東浩一)

スポーツ参加率  
魚津市、更新も…

2016年5月27日 金曜日  
北陸中日新聞

## 主 催

南砺市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 田中幹夫)  
南砺市教育委員会 教育部 生涯学習スポーツ課  
〒932-0292 富山県南砺市井波 520  
TEL : 0763-23-2013 FAX : 0763-82-5101

## 結 果

人 口 : 53,074 人 富山県南砺市 ●  
参加者数 : 27,636 人 VS  
参加率 : 52.1% 岐阜県羽島市 ○  
取得メダル : 金

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①一斉ラジオ体操(市内各地域) 4,000 人
- ②市内各企業での運動イベント(市内各企業) 4,000 人
- ③市内各学校での運動イベント(市内各学校) 4,000 人
- ④市内各地域によるファイナルイベント(各地域 拠点体育館) 1,500 人
  - ・ファイナルイベントでは各地域のスポーツクラブ・実行委員が中心となり市内 8 地域で開催しました。メイン会場の福野地域では、パワーヨガ、ドッチビーなど、多世代が楽しめる内容を 6 種目実施しました。最後は副実行委員長(市教育長)、きとときくん、ナントマンが参加し、ほっとあっとなんと体操、カウントダウン、キャンディーシャワーを行い、その様子をユーストリーム配信し、世界にチャレンジデーをアピールしました。
- ⑤ファイナルイベント内での「ほっとあっとなんと体操」一斉実施(各地域 拠点体育館) 1,500 人

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／レクリエーション協会／総合型地域スポーツクラブ／民間フィットネスクラブ／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／高等学校／特別支援学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／青少年健全育成組織／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会／障害者団体

## メディア

富山新聞／北日本新聞

## 広報・周知

チラシ・ポスター配布、のぼり・横断幕・懸垂幕の設置、広報車と市内防災無線を使っでの市内全地区への広報を行いました。上記に加え、今年は車用マグネットシートを購入し、事前広報に努めました。さらに、市ウェブサイト、南砺市チャレンジデーフェイスブックページの更新頻度を高め、ユーストリーム生中継を行うなど PR に努めました。各地域の参加率が多いところでは 10% 伸びるなど、広報活動による一定の効果をえました。

## 製作物

チラシ 18,750 枚／ポスター 550 枚／大型横断幕 5 枚／のぼり 1,000 本／懸垂幕 1 枚／Tシャツ 90 枚／ポケットティッシュ 2,000 個／マグネットシート 13 枚個

## 実施効果

早朝ラジオ体操、新チャレンジウォーク、ファイナルイベントは市の恒例行事となっており、多くの市民が参加され、地域の連帯感につながりました。

またイベント企画・運営を行う中で、スポーツクラブや実行委員が担う地域の役割を再確認しました。さらに多くの企業にも参加協力を呼びかけることにより、従業員の健康増進に対する企業の社会的責任、地域との連携について理解を得られました。

## 担当者から

従来旧町部で行っていたウォークイベントを、初めて旧村部内「世界遺産 五箇山の合掌造り集落」で行いました。今回の実施で、市内の豊かな自然や歴史に触れることができ、改めて市の魅力を再発見することができました。また旧町部と旧村部の市民交流にもつながり、健康づくりだけでなく、地域の連帯感の醸成にもつながりました。

今後も市民の半数が参加するチャレンジデーを、市の健康づくりの機会と位置づけています。この機会が市民にとって南砺市にとってより良いものになるように改善に取り組んでいきたいと思っています。



副実行委員長とナントマンでキャンディーシャワー



新チャレンジウォーク交流イベント

## 岐阜・羽島市と対戦

5月25日 南砺市チャレンジデー

南砺市チャレンジデー実行委員会総会（写真）は23日、市福野体育館で開かれた。今年対戦自治体は岐阜県羽島市で、5月25日に開催される。参加者はスポーツ参加率50%超えの金メダル獲得と勝利に向け一丸となすことを確認した。チャレンジデーは、午前0時から午後9時までに15分以上続けて運動をした住民の割合を競う。南砺市は昨年、2万6635人が参加し、49.6%だった。羽島市は人口約6万8千人で、市面積は南砺市の約10分の1。東海道新幹線岐阜羽島駅や名神高速道路岐阜羽島インターチェンジ（IC）があり、豊かな自然と交通要衝として発展している。昨年は参加率67.7%だった。



2016年3月24日 木曜日  
富山新聞

## 南砺 参加比率で勝負

### 心地道よい汗流す

1日の間にスポーツをした住民の比率を自治体同士で競う「チャレンジデー2016」が25日、全国の128市町村で行われた。県内では魚津市が50.3%で51.4%の鹿兒島県指宿市に、南砺市は52.1%で68.7%の岐阜県羽島市にそれぞれ敗れた。参加者は心地よい汗をかき、スポーツの楽しさにあらためて触れた。

南砺市では、全地域の住民を対象にした統一イベントとして「新なんとチャレンジウォーク」が開催され、約120人が上立地域の世界遺産・菅沼合掌造り集落一帯を歩いた。五箇山合掌の里前をスタートし、同集落を通る約4.5kmのコースが設定された。参加者は、五箇山自然文化研究会員の西敏一さん(69)から五箇山の歴史や文化に関する説明を受け、新緑も葉しみなながら歩を進めた。

このほか、統一イベントとして一斉ラジオ体操や「ほっとあっと」など体操が行われた。市民が各地域でカローリングやベタタンクなどの各種スポーツに汗を流した。

## 五箇山ウォークや体操



なんとチャレンジウォークで歩く参加者。菅沼合掌造り集落

2016年5月26日 木曜日  
北日本新聞

## スポーツの参加率競う

全国自治体でチャレンジデー

人口が同規模の自治体同士と対戦。南砺市は参加率52%でスポーツの参加率を競う「チャレンジデー」は25日、全国の128自治体(68市47町13村)で行われた。県内では南砺、魚津の2市の住民が15分以上の運動やスポーツに参加し、健康づくりに汗を流した。

南砺市

過去7勝4敗で12回目の参加となる南砺市(人口5万3074人)は岐阜県羽島市(同6万8595人)



約4.5kmを歩く「新なんとチャレンジウォーク」を実施し、市民が初夏の風吹を感じながら歩いた。福光体育館では福光老クラブ連合会がチャレンジデーに合わせ第4回会長杯カローリングを実施。約120人が楽しみなで運動した。ファイナルイベントのメイン会場となる福野体育館では、玉入れやたるま落としなどの「いろいろチャレンジ」写真やバスケットの3on3、エアロビクス、「ほっとあっと」など体操「なで」心地よい汗を流した。

2016年5月26日 木曜日 富山新聞



きときとくんを招いて保育園でイベント

#### 主催

甲斐市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 保坂 武)  
甲斐市教育委員会 スポーツ振興課  
〒400-0192 山梨県甲斐市篠原 2610  
TEL : 055-278-1698 FAX : 055-278-2047

#### 結果

人口 : 74,860 人  
参加者数 : 65,803 人  
参加率 : 87.9%  
取得メダル : 金

山梨県甲斐市 ○  
VS  
秋田県大館市 ●

#### プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①ショッピングウォーク(ラザウォーク双葉甲斐、おかじま食品館、いちやま마트、アマノ PAX2 店舗 他) 19,573 人
- ②ステーションウォーク(竜王駅、塩崎駅) 4,004 人
- ③ラジオ体操定期開催(赤坂台総合公園(ドラゴンパーク)) 948 人
- ④江庁舎前 RD チャレンジ(甲斐市役所) 384 人
- ⑤赤ちゃんハイハイ競争&親子ピクス、歩数アップ大作戦(敷島体育館、敷島保健福祉センター) 160 人
  - ・一人歩きできない赤ちゃんを対象とした「ハイハイ競争」と、3歳までの子どもと一緒にエアロピクスで体を動かす「親子ピクス」を開催。可愛い赤ちゃんが頑張ってハイハイする姿が微笑ましく、子どもと一緒に体を動かし、ママさんにもリフレッシュしていただきました。また、山梨県民は日常の歩数が少ないという調査から、施設外周において効果的なウォーキング・軽運動を学ぶ「歩数アップ大作戦」を行いました。

#### 【アスリート・著名人など】

山梨クィーンビーズ(Wリーグ所属女子バスケットボールチーム)

#### 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/健康づくり担当部署/福祉担当部署/観光担当部署/総務担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/小学校(校長会)/中学校(校長会)/事業所・企業/商工会・青年会議所/社会福祉協議会/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ/婦人会/文化協会/ボランティア団体/消防団

#### メディア

山梨日日新聞/NHK 甲府放送局/山梨放送/テレビ山梨/NNS 甲府放送局

#### 広報・周知

自治会や市内の企業・事業所にチラシ等を送付し参加を呼びかけ、当日も企業訪問するなどして参加依頼を行いました。

また、市の広報担当を通じプレスリリースし、市ウェブサイト・市 SNS(LINE・Twitter(ツイッター)) による情報発信を行ったほか、FM-FUJI の情報発信コーナーにインタビュー出演しイベントについて周知を行いました。

#### 製作物

チラシ 35,000 枚/ポスター 350 枚/大型横断幕 5 枚/のぼり 165 本/Tシャツ 50 枚/ポケットティッシュ 3,000 個

#### 実施効果

「ラジオ体操のまち甲斐市」として日頃からラジオ体操の普及を推進しており、平成 26 年度に「甲州弁ラジオ体操」を作成し、地域で取り組んでいます。チャレンジデー当日には、学校はもとより自治会・企業において、ラジオ体操を中心とした運動に取り組んでいただきました。

今年は、企業・事業所に参加していただくことを課題とし、事業所訪問により参加を呼びかけたことが高い参加率に繋がったと考えます。チャレンジデーを通じ、地域が一丸となって取り組むことができた実感できました。

#### 担当者から

7 回目の挑戦となった「甲斐市チャレンジデー」。これまでもラジオ体操を中心に取り組んできましたので、地区を巡回して参加呼びかけをしている際、お年寄りから「チャレンジデー? ラジオ体操をする日だね」という返事をいただき、地域に定着したイベントになったと実感することができました。

開催時期が他のスポーツ事業と重なるなど、担当職員は大変な思いかもしれませんが、地道な取り組みが参加率に反映されたことを嬉しく感じました。



消防団エアロピクス



親子ピクス

## 「チャレンジデー」甲斐、南部が参加 赤ちゃんハイハイ競う

15分以上継続して運動した住民の参加率を全国の自治体で競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)が25日



まだ歩けない赤ちゃんを対象とした「ハイハイ競争」  
＝甲斐・敷島保健福祉センター

全国各地で開かれ、県内からは甲斐市と南部町が参加した。同規模の自治体同士で競う方式で、7年連続の参加となった甲斐市は、秋田県大館市

と対戦。甲斐市島上条の敷島保健福祉センターでは、まだ歩くことのできない赤ちゃんを対象にした「ハイハイ競争」を行った。親子3組が参加し、母親らがおもちゃで音を出したり、「おいでおいで」と声を掛けたりして誘導。赤ちゃんは母親らの誘導に従い、ゴールに向かってハイハイしていた。

一方、4年連続の参加となる南部町は、北海道標津町と対戦した。南部町大和のアルカディア南部総合公園体育館では、ランニングマシンやバランスポールを使える運動コーナーを設け、多くの住民が訪れて汗を流した。このほか、ラジオ体操やグラウンドゴルフ大会なども開かれた。

〈山本昂輝、上田康太郎〉

2016年5月26日 木曜日  
山梨日日新聞

### チャレンジデー参加率

甲斐市87・9%  
大館市に勝利

15分以上継続して運動した住民の参加率を全国の自治体で競う「チャレンジデー」で、甲斐市は参加率87・9%（参加者6万5803人）で、対戦相手の秋田県大館市の65・3%（同4万9430人）を上回り、勝利した。甲斐市はこれまで最も高かった2010年の参加率を6・6ポイント上回った。市スポーツ振興課によると、市内の企業へ参加を呼び掛けるなど広報活動に力を入れたという。同課担当者は「7年

間続けてきたことで、地域に浸透したことが参加率の向上につながった」とみている。一方、南部町は55・9%（同4679人）で、北海道標津町の77・5%（同4157人）を下回り、敗れた。南部町生涯学習課の担当者は「負けはしたが、参加率は昨年より高くなった。今回参加してくれた人には今後も運動を継続してほしい」と話していた。

2016年5月26日 木曜日 山梨日日新聞



シルバー人材センター GG 大会・ラジオ体操講習

## 主催

南部町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 佐野和広)

南部町教育委員会 生涯学習課 生涯スポーツ係

〒409-2398 山梨県南巨摩郡南部町内船 4473-1

南部町役場分庁舎

TEL : 0556-64-4841 FAX : 0556-64-3199

## 結果

人口 : 8,376 人

参加者数 : 4,679 人

参加率 : 55.9%

取得メダル : 銀

山梨県南部町 ●

VS

北海道標津町 ○

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

①お試しトレーニング、健康・体力チェックほか(アルカディアスポーツセンター) 363 人

- ・体育館内を各ブースに分け、家族で参加してもらいイベントです。トレーニングスペース、体力テストスペース、健康チェックスペース、お試しスペース、参加賞抽選会などを順に回ってもらいました。

②南部シニアグラウンド・ゴルフ大会(アルカディア運動場) 346 人

③ファイナル リズム体操(活性化センター) 167 人

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／福祉担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会

## メディア

山梨日日新聞

## 広報・周知

町内全戸へ設置してある FM 告知放送を利用したの周知。

## 製作物

チラシ 3,500 枚／ポスター 150 枚／大型横断幕 1 枚／のぼり 100 本／Tシャツ 40 枚／タオル 250 枚

## 実施効果

イベント参加により、その後、教室事業への加入者がありました。また、体力・健康への意識の高揚が図られました。ラジオ体操・ウォーキング実施へのさらなる意識が高まったと思います。

## 担当者から

年齢を問わず、自分の体力や健康には興味や関心があるように思いました。



お試しトレーニング、健康・体力チェック



ファイナルリズム体操



オープニングラジオ体操



## 「チャレンジデー」甲斐、南部が参加 赤ちゃんハイハイ競争

15分以上継続して運動した住民の参加率を全国の自治体で競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)が25日



まだ歩けない赤ちゃんを対象とした「ハイハイ競争」  
＝甲斐・敷島保健福祉センター

全国各地で開かれ、県内からは甲斐市と南部町が参加した。  
同規模の自治体同士で競う方式で、7年連続の参加となった甲斐市は、秋田県大館市

と対戦。甲斐市島上条の敷島保健福祉センターでは、まだ歩くことのできない赤ちゃんを対象にした「ハイハイ競争」を行った。親子32組が参加し、母親がおもちゃで音を出したり、「おいでおいで」と声を掛けたりして誘導。赤ちゃんは母親らの誘導に従い、ゴールに向かってハイハイしていた。  
一方、4年連続の参加となる南部町は、北海道標津町と対戦した。南部町大和のアルカディア南部総合公園体育館では、ランニングマシンやパランスボールをさせる運動コーナーを設け、多くの住民が訪れて汗を流した。このほか、ラジオ体操やグラウンドゴルフ大会なども開かれた。  
(山本昂輝、上田康太郎)

2016年5月26日 木曜日 山梨日日新聞

**主 催**

小海町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 新井寿一)  
教育委員会

〒 384-1103 長野県南佐久郡小海町豊里 285  
北牧楽集館

TEL : 0267-92-4391 FAX : 0267-92-4444

**結 果**

人 口 : 4,845 人 長野県小海町 ○  
参加者数 : 2,284 人 VS  
参加率 : 47.1% 熊本県山江村 ●  
取得メダル : 銀

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ①ゲートボール大会(屋外ゲートボール場) 42 人
- ②バレーボールリーグ戦(北牧楽集館 体育館) 30 人
- ③ラジオ体操(北牧楽集館 体育館) 27 人
  - ・当日の朝 6 時 30 分から仕事に行く前にラジオ体操をしていただきました。開会式を兼ねて行ったプログラムとなります。ラジオ体操の音源を体育館に流し、実行委員がお手本となってラジオ体操をして、15 分以上に満たないところはストレッチを実施します。各事業者にも運動するように呼びかけたため人数は少なめでありましたが、当初の予定より多く参加者が集まりました。
- ④体カテスト(北牧楽集館 多目的ホール) 19 人
- ⑤町民マレットゴルフ大会(松原湖高原マレットゴルフ場) 17 人

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/スポーツ推進委員協議会/スポーツ少年団/町内スポーツグループ代表者/商工会・青年会議所/高齢者団体・老人クラブ

**メディア**

信濃毎日新聞

**広報・周知**

広報・周知するうえで工夫したことにつきましては、町内全域にチラシを全戸配布を行い、防災無線にて放送を流しました。小さい町だからこそできる内容だと思います。また、全戸配布したチラシの裏面に参加報告書を書き、運動をした人たちに積極的に報告をしてもらうようにしました。結果につきましても多くの方が FAX や電話にて報告をしていただきました。

**製作物**

チラシ 1,872 枚/ポスター 30 枚/大型横断幕 1 枚/横断幕(その他) 10 枚/のぼり 20 本/T シャツ 40 枚/ポケットティッシュ 500 個

**実施効果**

2016 年から初実施となりましたが、チャレンジデーを実施し

た目的の 1 つとして「町民の方に運動やスポーツをするきっかけをつくり健康に対する意欲を高め地域活性化をはかる」を掲げており、実施をしてからはスポーツイベントの参加者が例年に比べて多くなるなどの効果が表れています。また、昨年の 10 月に完成したトレーニングルームの利用者が停滞していたところからイベントをきっかけに年齢層問わず上昇傾向にあります。

**担当者から**

今年初めて実施してみて、住民の多くの方は運動やスポーツをするきっかけをつくとイベントに参加をしていただけたことが実感できました。やはり、健康の状態を気にする人や運動不足を解消したいなど目的は様々ですが、一人でやるよりたくさんの人とやる方が楽しいという方もいてチャレンジデーに参加してよかったと思います。高齢者の方がイベントに参加して自ら参加の報告をしていただける人も多かったです。



フラダンスの練習風景



町内を巡るウォーキング大会



ゲートボール大会の様子

# 運動参加率競争 県内もいい汗

## チャレンジデー



1日に15分以上続けて運動した住民の参加率を自治体別で順位を競う「チャレンジデー」が25日、全国各地で行われた。県内からは東御市、南佐久郡小海町、同郡南相木村、下伊那郡喬木村が参加。東御市、小海町、喬木村が勝ち、親子21組51人が参加。母親の

### ◆ 喬木

音楽に合わせて体を動かす親子



### ◆ 東御

新聞紙を使った運動遊びをする親子



### ◆ 小海

ボールを追いつけるサッカーチームの子どもたち



### ◆ 南相木

ラジオ体操をする消防団員たち

子どもたちが大はしゃぎ。市内の主婦渡辺良枝さん(39)は2歳の次男と遊びながら「家ではできない遊びでありがたい」と楽しんでた。

小海町は町制60周年を記念して初めて参加し、熊本県山江村と対戦した。町生涯学習センターで夕方、サッカーチームに所属する小学生約20人がゲーム形式の練習をした。小海小6年の渡辺天晴君(11)は「みんなでサッカーをするのは楽しい」と話した。

南相木村は4回目の参加で、秋田県東成瀬村と対戦。夜には南相木小学校に村消防団員が集まって、ラジオ体操をするなど体を動かした。

「チャレンジデー」は1993年から行い、今回は県内4市町村を含む全国128市町村が参加した。

**主 催**

チャレンジデーたかぎ実行委員会 (実行委員長 市瀬直史)  
喬木村教育委員会

〒395-1107 長野県下伊那郡喬木村 6664

TEL : 0265-33-2002 FAX : 0265-33-3682

**結 果**

人 口 : 6,591 人 長野県喬木村 ○  
参加者数 : 4,286 人 VS  
参加率 : 65.0% 北海道本別町 ●  
取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ①各公民館 早朝ウォーキング、ラジオ体操(各公民館集会所) 約 500 人
- ②ウォームアップ講習(喬木中学校体育館) 100 人
  - ・夜間ソフトボール連盟で行ったプログラムです。講師の方をお呼びして1時間ほどウォームアップ講習を行いました。
- ③サッカー交流試合(喬木第一小、中学グラウンド) 100 人
- ④リトミック教室(こども学遊館) 80 人
- ⑤テニス教室(運動公園テニスコート) 50 人

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校(校長会)/中学校(校長会)

**メディア**

信濃毎日新聞/中日新聞/いいだ FM

**広報・周知**

- ・1日2回村内オフトークでの呼びかけ
- ・20日前から当日まで広報車で村内を回って呼びかけ
- ・チャレンジデー前日、全戸に折込チラシの配布
- ・企業回り(当日協力をお願い、周知のお願い)

**製作物**

チラシ 2,000 枚/ポスター 80 枚/大型横断幕 2 枚/のぼり 20 本/Tシャツ 40 枚/ポケットティッシュ 1,000 個/タオル 250 個

**実施効果**

- ・15 回目の実施で、チャレンジデーが住民・企業にしっかりと認知されており、多くの方に参加いただくことができました。
- ・普段なかなか運動する機会の少ない方も、この日はそれぞれで運動に取り組んでいただき、体を動かす楽しさを実感していただけだと思います。
- ・実行委員の活発な広報活動を通じて、村内住民の連携強化を図ることができました。

**担当者から**

今年で15 回目の実施ということで、村民の方にはチャレンジデーが浸透しており、この日は運動する日だと多く人が認識しています。体育協会や総合型地域スポーツクラブ、村内企業の方々にも積極的に参加していただきました。目標の70%に達しなかったのは残念でしたが、チャレンジデーはスポーツに親しむのが目的でもあるので、住民の方にはこれをきっかけに気軽に体を動かしてほしいと思います。



ウォームアップ講習



高齢者クラブ ゲートボール



リトミック教室



健康太極拳教室で身体を動かす村民たち＝喬木村で

参加率70%超へ  
チャレンジデー  
喬木 みんなで運動  
喬木村は二十五日、一日十五分以上、スポーツや運動をした住民の参加率を競う「チャレンジデー2016」（笹川スポーツ財団主催）に取り組んだ。参加率70%以上を目指し、各地で教室や試合を展開した。健康づくりやスポーツ振興を目的に、人口規模が似た自治体と参加率で対戦し、敗れた自治体が庁舎に相手自治体の旗を掲げるルール。村は十四年連続で金メダルを獲得しており、今年も北海道本別町と対戦した。

2016年5月26日 木曜日 中日新聞

運動参加率競争 県内もいい汗

チャレンジデー



◆小海 ポールを追い掛けるサッカーチームの子どもたち



◆喬木 音楽に合わせて体を動かす親子



◆南相木 ラジオ体操をする消防団員たち



◆東御 新聞紙を使った運動遊びをする親子

1日に15分以上続けて運動した住民の参加率を自治体別で競う「チャレンジデー2016」が25日、全国各地で行われた。県内からは東御市、南佐久郡小海町、同郡南相木村、下伊那郡喬木村が参加。東御市、小海町、喬木村が勝利した。

同市で競う「チャレンジデー」が25日、全国各地で行われた。県内からは東御市、南佐久郡小海町、同郡南相木村、下伊那郡喬木村が参加。東御市、小海町、喬木村が勝利した。県内最多の15回目の参加となる喬木村は、北海道本別町と対戦した。村次世代育成交流センターでも学遊館では「リトミック」教室があり、親子21組51人が参加。母親の

勝に乗った子どもたちは、リズムに合わせて手を上げ下げしたり、揺られたりしていた。子どもと初めてリトミックを体験した佐藤千久子さん(39)は「運動する良い機会になった」と話した。3回目の参加の東御市は、大分県豊後大野市と対戦。東御市東部子育て支援センターでは、1〜3歳の子どもと母親の親子約20組が「運動遊び」に参加。破いた新聞紙を集めた「新聞紙ボール」では子どもたちが大はじき。市内の主婦渡辺良枝さん(39)は2歳の次男と遊びながら「家でできない遊びでありがたい」と楽しんでいた。小海町は町制60周年を記念して初めて参加し、熊本県山江村と対戦した。町生涯学習センターで夕方、サッカーチームに所属する小学生約20人がゲーム形式の練習をした。小海小6年の渡辺大晴君(11)は「みんなでサッカーをするのは楽しい」と話した。南相木村は4回目の参加で、秋田県東成瀬村と対戦。夜には南相木小学校に消防団員が集まって、ラジオ体操をするなど体を動かした。「チャレンジデー」は1993年から行い、今回は県内4市町村を含む全国28市町村が参加した。

2016年5月26日 木曜日 信濃毎日新聞

**主 催**

チャレンジデー東御市実行委員会 (実行委員長 花岡利夫)  
教育委員会 生涯学習課 生涯学習・スポーツ係  
〒389-0592 長野県東御市 288-4  
中央公民館内

TEL : 0268-64-5885 FAX : 0268-64-5610

**結 果**

人 口 : 30,752 人 長野県東御市 ○  
参加者数 : 17,382 人 VS  
参加率 : 56.5% 大分県豊後大野市 ●  
取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ①チャレンジとうみ 15 分体操(市役所前 市民交流広場) 110 人
  - ②親子運動あそび(子育て支援センター) 60 人
  - ③いきいき健康体操(中央公民館) 40 人
  - ④早朝・夕刻ウォーキング(市内公園) 34 人
  - ⑤新体力テスト(第一体育館) 30 人
- ・ 特に力を入れているプログラムというより、開催時間が重ならないようにし、誰でも自由に参加できる日程を組んで実施しました。

**【アスリート・著名人など】**

三宅良輔(日本体育大学体操研修室教授)

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／  
観光担当部署／総務担当部署／保育、地域づくり／スポーツ推進  
委員協議会／体育協会／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中  
小学校(校長会)／事業所・企業／商工会・青年会議所／社会福祉  
協議会／青少年健全育成組織／PTA 連合会／自治会・町内会／  
高齢者団体・老人クラブ／婦人会／公民館

**メディア**

信濃毎日新聞／信州民報／うえだケーブルテレビ／FM とうみ

**広報・周知**

- ・ 市内企業への訪問
- ・ チラシ兼報告用紙の全戸配布

**製作物**

チラシ 20,000 枚／ポスター 300 枚／大型横断幕 1 枚／のぼり  
30 本／Tシャツ 50 枚／ビブス 150 枚

**実施効果**

市では、スポーツ振興施策の「1 市民 1 スポーツの実践」と、市民の健康寿命を延ばし健康なまちづくりを目指すため、チャレンジデーを実施し 3 回目が終了しました。

住民、企業への呼び掛けもあり、チャレンジデーが徐々にでは  
ありませんが理解をされ、参加者が増加してきています。また、チャ  
レンジデーに参加している皆さんから、「毎日続けてやらなければ  
いけないよね」と言った声を多く耳にしました。

このように、チャレンジデーへの参加が市民の体を動かす意識  
付けのひとつになってきていることを実感しました。



Skype によるエール交換



企業の 15 分体操



企業のウォーキング



## 住民の運動対決へ 大分とエール交換

東御市 ネット電話で

21時間以内に15分以上継続して運動した住民の参加率を自治体同士で競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)が25日に全国で行われるのを前に、参加する東御市の花岡利夫市長(写真手前)と対戦相手の大分県豊後大野市の橋本祐輔市長が19日、エ

ールを交換した。インターネット電話「スカイプ」を通じて互いの市の特徴を紹介し合った。

花岡市長は市中央公民館に設置したパソコンを通じ、熊本地震の影響を質問。橋本市長は「すぐ隣の熊本県はかなりひどい。全国の皆さんからの支援がありがたい」と話し、両市長は「お互い頑張りましよう」と健闘を誓った。花岡市長は、特産の巨峰をイメージした「当地キャラクター」「巨ん太」と「ぶるぶる」について相手に紹介した。

東御市は今年、3回目の参加。約15分間の体操とダンスを収録したオリジナルのビデオを動画サイト「YouTube(ユーチューブ)」で公開し、チャレンジデーへの参加を呼び掛けている。

2016年5月20日 金曜日 信濃毎日新聞



## 東御市 「チャレンジデー」市内6カ所でイベント 3回目の対戦相手は大分県の豊後大野市!

花岡市長は「東御市は今年も「チャレンジデー」に参加。25日は朝から夜まで、6カ所でイベントを開催した。対象時間(午前0時〜午後9時)の参加率は9.2%(昨年は9.8%)。今年

の同時刻参加率は5.5%で、東御市が多かった。この日、市役所前の市民交流広場では花岡利夫市長はじめ職員や市議員ら約80人が、始業前の午前8時から約15分、「チャレンジとうみ15分体操」を実施。さわやかな空気のなかラジオ体操第1、「Tomito me」に合わせた簡単な体操、ストレッチを行った。また他にも親子運動遊びやウォーキング、いきいき健康体操、新体力テストなど様々な運動を実施。ケアポートみまきでは、常設で「ポツチャ

体験」も企画した。チャレンジデーは人口規模がほぼ同じ自治体同士で、住民の運動・スポーツの参加率を競い合うもの。毎年5月の最終水曜日に世界中で行われ、身近なところで年齢・性別を問わず一日15分以上、体を動かすことで参加できる。なおそれぞれの自治体では互いの健闘を称え、チャレンジデーの翌日から対戦相手の旗を庁舎メインポールに掲揚し、敬意を表する。

2016年5月26日 木曜日 信州民報

**主 催**

南相木村チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 中島則保)  
南相木村教育委員会  
〒384-1211 長野県南佐久郡南相木村 4435  
TEL : 0267-78-2433 FAX : 0267-78-2477

**結 果**

人 口 : 1,068 人 長野県南相木村 ●  
参加者数 : 912 人 VS  
参加率 : 85.4% 秋田県東成瀬村 ○  
取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ① オープニングイベント ウォーキング(村内) 98 人
- ② おたっしゃ教室体操(村内各公民館) 79 人
- ③ オープンゲートボール大会(丸山総合グラウンド) 75 人
  - ・ 村内のゲートボール連盟と連携し近隣町村に呼びかけ、なるべく多くの町村に参加してもらうよう働きかけました。グラウンドの整備からコート作りまでチャレンジデー事務局とゲートボール連盟が一丸となり取組み、他町村からも評判の良いコートの状態で大会を実施しています。
- ④ 小学校 スポーツチャレンジ集会(小学校体育館) 65 人
- ⑤ 消防団体操・大会練習(小学校グラウンド) 41 人

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署／福祉担当部署／東信教育事業所／スポーツ推進委員協議会／ゲートボール連盟／マレットゴルフ愛好会／商工会・青年会議所／保健指導員会／JA 南相木支所長／公民館長

**メディア**

信濃毎日新聞／南相木村 CATV

**広報・周知**

全戸配布の他、他町村からも人が訪れる温泉施設や観光スポットにポスター等を掲示したため、村外者の参加率に大きな効果を得られました。

**製作物**

チラシ 450 枚／ポスター 50 枚／大型横断幕 1 枚／のぼり 50 本／懸垂幕 1 枚／Tシャツ 20 枚／ポケットティッシュ 1,000 個

**実施効果**

役場職員を含め、村民の方々にも運動をすることの大切さや楽しさを理解してもらえました。

**担当者から**

今回当村は 4 回目の実施となり、住民の方にもチャレンジデーイベントが大分浸透してきました。

その一方で、イベントの内容がパターン化してきてしまい、新た

な企画を考えるのに苦労しました。

新たな企画として実施したエンディングイベントのナイトウォーキングは、なかなか参加者も集まらず次回への課題となりました。

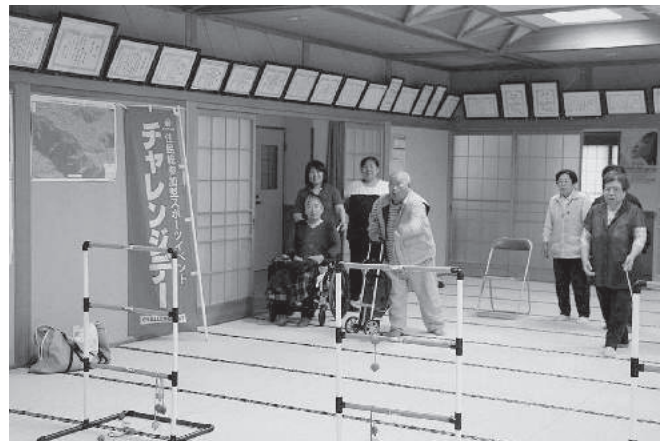
一人でも多くの方に参加してもらえるよう創意工夫したいと思います。



OP イベント【ウォーキング】：出発前にエイ、エイ、オー！



オープンマレットゴルフ大会：一打集中！マレットゴルフ大会



各公民館【おたっしゃ教室】：遊びで体を動かそう！



# 運動参加率競争 県内もいい汗

## チャレンジデー



1日に15分以上続けて運動した住民の参加率を自治体別で競う「チャレンジデー」が25日、全国各地で行われた。県内からは東御市、南佐久郡小海町、同郡南相木村、下伊那郡喬木村が参加。東御市、小海町、喬木村が勝つ

同市で競う「チャレンジデー」は、1日(25日)に15分以上続けて運動した住民の参加率を自治体別で競う。県内からは東御市、南佐久郡小海町、同郡南相木村、下伊那郡喬木村が参加。東御市、小海町、喬木村が勝つ

◆ 喬木 音楽に合わせて体を動かす親子



◆ 東御 新聞紙を使った運動遊びをする親子



◆ 小海 ボールを追い掛けるサッカーチームの子どもたち



◆ 南相木 ラジオ体操をする消防団員たち

膝に乗った子どもたちは、リズムに合わせて手を上げ下げしたり、揺られたりしていた。子ども2人と初めてリトミックを体験した佐藤千久子さん(39)は「運動する良い機会になったと話した。」

3回目の参加の東御市は、大分県豊後大野市と対戦。東御市東部子育て支援センターでは、1〜3歳の子どもと母親らの親子約20組が「運動遊び」に参加。破いた新聞紙を集めた「新聞紙ボール」では

子どもたちが大はしゃぎ。市内の主婦渡辺良枝さん(39)は2歳の次男と遊びながら「家ではできない遊びでありがたい」と楽しんでいった。小海町は町制60周年を記念して初めて参加し、熊本県山江村と対戦した。町生涯学習センターで夕方、サッカーチームに所属する小学生約20人がゲーム形式の練習をした。小海小6年の渡辺天晴君(11)は「みんなでサッカーをするのは楽しい」と話した。南相木村は4回目の参加で、秋田県東成瀬村と対戦。夜には南相木小学校に村消防団員が集まって、ラジオ体操をするなど体を動かした。「チャレンジデー」は1993年から行い、今回は県内4市町村を含む全国128市町村が参加した。

**主 催**

羽島市チャレンジデー実行委員会 (会長 松井 聡)

羽島市教育委員会スポーツ推進課

〒501-6241 岐阜県羽島市竹鼻町 226 番地 2

羽島市教育委員会

TEL : 058-393-4622 FAX : 058-391-0906

**結 果**

人 口 : 68,595 人

参加者数 : 47,152 人

参加率 : 68.7%

取得メダル : 金

岐阜県羽島市 ○

VS

富山県南砺市 ●

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**① **こどもも大人もみんな楽しむドッチビー体験(市内全小学校(9校) 体育館) 2,000 名**

- ・今年、夜 7 時から市内のすべての小中学校にてイベントを行いました。特に小学生とその保護者を中心とした参加者が多かった。チーム編成では、大人と子どもを分けるのではなく、このチャレンジデーというイベントだからこそ、同じコートで一緒に楽しむルールとしました。大人は子どもにいいところを見せようと、子どもは大人に挑戦しようと、たっぷり汗を流す気持ちのよい時間となりました。

② 健康体操(羽島文化センター) 200 名

③ グラウンド・ゴルフ体験(FUKUJU スポーツパーク) 180 名

④ キンボールスポーツ体験(竹鼻中学校) 150 名

⑤ スポーツ吹矢体験(小熊コミュニティセンター) 100 名

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / レクリエーション協会 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 高等学校 / 特別支援学校

**メディア**

中日新聞 / 岐阜新聞 / 朝日新聞 / 岐阜放送 / チャンネル長良川 (CCN)

**広報・周知**

今年羽島市では羽島市チャレンジデー大使として東海地方を中心に活動する男性 10 人組ユニット「BOYS AND MEN」のうちの羽島市出身の辻本達規さんを起用しました。辻本さんもブログを運営されており、羽島市チャレンジデーについての記事を掲載していただき、その記事の内容を羽島市の Facebook、市長の Facebook 等にリンクさせて周知を図りました。

**製作物**

チラシ 30,000 枚 / ポスター 1,000 枚 / 大型横断幕 1 枚 / 横断幕(その他) 20 枚 / のぼり 1 本 / 懸垂幕 2 枚 / Tシャツ 70

枚 / 入浴剤・水きりネット(参加賞) 4,000 個

**実施効果**

今年より、報告方法に LINE を追加しました。LINE の「タイムライン」の記事を活用し、当日の運動実施の報告はもちろんのこと、質問や感想のメッセージのやりとりなど、市民と実行委員会との双方向のコミュニケーションをとることができました。遠くは大阪より羽島市に訪れ運動に参加される方がいらっやって、羽島市の観光情報を尋ねられ、市観光協会のウェブサイトを紹介しました。その参加者には、市内観光も行っていただけ、「スポーツツーリズム」の点から、大きなヒントをいただけたように思います。

**担当者から**

取り組みから 5 年が経過し、徐々にチャレンジデーの周知が広まってきました。手軽にスポーツに参加できるチャンスを作ることこそが、スポーツ実施率につながることで実感された今回の取り組みでした。報告方法に SNS を活用することの有効性が確認できました。また動画とイベント、スポーツと観光、人と人、さまざまなものをつなげることが大切であることがわかりました。



キンボールスポーツ体験



みんなで高らかにエール！！



チャレンジデーで健康体操をする羽島市民  
＝同市竹鼻町の市文化センターで

**市民スポーツ参加率を競う**  
羽島市が勝利

市民参加型のスポーツイベント「羽島市チャレンジデー2016」が25日、市内17会場で開催され、大勢の市民がグラウンド・ゴルフ、健康体操、エアロビクスなどで体を動かした。

6年目の今回は、9月に県内で開催される第70回全国レクリエーション大会のプレイベとなるため、グラウンド・ゴルフ体験が昼夜2回行われたほか、健康体操や吹き矢体験があった。夜の部では、9小学校でドッチビー体験、竹鼻中でキンボール体験、中央中でエアロビクス体験、桑原中と中島中でヨガ体験があり、羽島市出身のタレント、辻本達規さん(24)が4会場を回って市民と交流した。

市文化センターでは健康体操に約100人が参加し、小川勇美子・市レクリエーション協会副会長が指導した。主婦の鈴木みどりさん(69)＝正木町は「体を動かすと健康がいい。体操は毎日します」と話していた。

【立松勝】

2016年5月27日 金曜日 毎日新聞



辻本達規さんとドッチビーに熱中する子どもら＝羽島市竹鼻町、竹鼻小学校

**住民、運動参加率競う**  
羽島市 チャレンジデー参戦

自治体間で住民のスポーツ参加率を競う全日本大会「チャレンジデー2016」(笹川スポーツ財団主催)が、全国128カ所で行われ、6回目の参戦となった羽島市は富山県南砺市と対戦し、勝利した。

市町村の人口に対する参加率は、68・7%で、52・1%の南砺市に快勝した。

市内ではこのほか、島市は、男性グループ「BOYS AND MEN」のメンバーの山田俊介が初参加し、参加率43%で沖繩県大宜味村に勝った。

【山田俊介】

2016年5月27日 金曜日 岐阜新聞



中学生もポスター制作に協力

羽島市、25日スポーツチャレンジデー  
**大使に辻本さん任命**

松井聡市長から市チャレンジデー大使の任命書とたすきを授けられた辻本達規さん(24)＝羽島市所

の出席で今年も富山県南砺市と対戦する。多くの参加を促そうと初めて大使を任命した。

市役所で松井聡市長から任命書とたすきを受けた辻本さんは「体を動かす魅力を発信して、軽いランニングから始めてみて」と呼びかけた。当日は市内各地の体験会場を巡り、参加者を激励する。

【山田俊介】

2016年5月11日 水曜日 岐阜新聞

## 主催

七宗町チャレンジデー実行委員会 (委員長 井戸敬二)

住民課健康係

〒509-0401 岐阜県加茂郡七宗町上麻生 2152 番地 1

七宗町生きがい健康センター

TEL : 0574-48-2046 FAX : 0574-48-1360

## 結果

人口 : 4,129 人

岐阜県七宗町 ○

参加者数 : 1,776 人

VS

参加率 : 43.0%

沖縄県大宜味村 ●

取得メダル : 銀

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①親子レクリエーション(上麻生小学校体育館) 163 人
  - ・ 小学校の授業参観と併せて実施し、保護者と子ども達でレクリエーションをしながら身体を動かしました。
- ②ゲートボール(七宗町グラウンド) 160 人
- ③ラジオ体操(セブン工業社内) 114 人
- ④ナイトウォーキング(上麻生地区内) 76 人
- ⑤いす体操(木の国七宗コミュニティーセンター) 72 人

## 実行委員会の構成団体

スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ

## メディア

岐阜新聞

## 広報・周知

初実施のため、とにかくチャレンジデーのことを町民に知っていただくことが重要でした。そのため、全世帯にチラシやポケットティッシュを配付したり、年度末や年度初めの各種団体の会議等で町長や担当課長から PR 説明等を行いました。その他、広報誌に記事を載せたり、広報無線で参加を呼びかけたりしました。

## 製作物

チラシ 2,000 枚 / ポスター 100 枚 / 大型横断幕 1 枚 / のぼり 100 本 / 懸垂幕 3 枚 / Tシャツ 40 枚 / ポケットティッシュ 3,000 個 / STAFF ジャンパー 20 枚

## 実施効果

各種団体はもとより、地区で結束してイベントを実施したり、普段からウォーキング等をしている方々が声を掛け合いながら連絡をくれたりと、町民が協力し合いながら、主体的に取り組んでいる姿が感じられました。また、これを機に中断していた運動を再開したという方もおり、町民の運動意識の向上に役立ったのではないかと思います。



住民参加のいす体操



父兄と小学生のレクリエーション



住民参加のナイトウォーキング

七宗町で住民が  
軽スポーツに汗

## チャレンジデー

自治体間で住民のスポーツ参加率を競うイベント「チャレンジデー2016」が25日、全国128カ所で一斉に行われた。初参戦となる七宗町は沖縄県大宜味村と対戦。住民が町内各地でゲートボールやペタンクなどに取り組み爽やかな汗を流した。

笹川スポーツ財団の主催。イベントは、午前0時〜午後9時に15分以上運動した住民の参加率を競う。

同町上麻生の町民グラウンドでは、ゲートボール大会とペタンク大会を展開。143人が参加し、汗を流した。

同グラウンドに隣接した町体育館では、未就園児と母親が一緒に遊ぶ「親子ふれあい遊

び」を実施。町内のほぼ全ての未就園児の親子17組が、音楽に合わせて走ったりジャンプしたりして楽しい時間を過ごした。

同町の結果は、参加者1776人、参加率43・0%。同町の参加者1267人、参加率40・1%を上回って勝利した。（鈴木隆宏）



音楽に合わせて走り、汗を流す親子  
＝七宗町上麻生、町体育館

2016年5月27日 金曜日 岐阜新聞

**主 催**

飛島村チャレンジデー実行委員会 (会長 久野時男)  
生涯教育課

〒490-1436 愛知県海部郡飛島村竹之郷三丁目1番地  
飛島村中央公民館

TEL : 0567-52-3351 FAX : 0567-52-2155

**結 果**

人 口 : 4,575 人 愛知県飛島村 ○  
参加者数 : 3,710 人 VS  
参加率 : 81.1% 秋田県上小阿仁村 ●  
取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ①元松イベント(ラジオ体操、キラリとびしまのびのび体操) (北拠点避難所) 128 人
  - ・北拠点避難所において、午前6時30分からラジオ体操と、健康長寿のために作られた、村オリジナルの体操であるキラリとびしまのびのび体操を行いました。元松地区の住民を中心に多くの方が体を動かしました。
  - ・自宅から歩いて北拠点避難所に集合し、体操で体を動かした後、歩いて帰宅することで、15分以上の運動をしました。
- ②敬老センターイベント(ラジオ体操、キラリとびしまのびのび体操、ストレッチ) (敬老センター) 85 人
- ③ミニバスケットスポーツ少年団による体験会(南部体育館) 85 人
- ④スポーツ・レクリエーション体験会(すこやかセンター) 50 人
- ⑤バレーボール連盟によるビーチボールバレー体験会(総合体育館) 28 人

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/総合型地域スポーツクラブ/生涯学習(スポーツ)推進員

**広報・周知**

- ・担当職員が村内企業・団体に直接訪問し、チャレンジデーの周知や参加協力の依頼をしたことで、50を超える企業・団体から協力を得ることが出来ました。また実行委員が身近な人へ参加の呼びかけをしたことで、飛島村チャレンジデーのイベントに興味を持つ住民が増えました。

**製作物**

チラシ 4,000 枚/ポスター 90 枚/大型横断幕 1 枚/Tシャツ 100 枚

**実施効果**

ラジオ体操、キラリとびしまのびのび体操、ウォーキングを組み合わせた元松イベントを始め、15個のイベントを実行委員が中心となり実施したことで、住民がイベントに参加し運動をする

きっかけになりました。また各種イベントに住民同士が声を掛け合い参加したことで、運動を通じた地域住民の交流が図られたと感じています。

**担当者から**

実行委員を始め村内企業・団体等を中心に多くの皆様のご協力のおかげで、担当が当初予想していた数値を大きく超える参加率となりました。今回のチャレンジデーをきっかけに運動に関心を持ち、継続する住民が増えることにより、健康長寿の村づくりの一助になることを期待しています。



敬老センターでのキラリとびしまのびのび体操



元松イベントでのラジオ体操



大人も子どももニュースポーツ

## チャレンジデー

### 秋田の村と対戦

25日に飛鳥村

飛鳥村は、十五分以上運動した住民の参加率を調べて自治体間で競つ「チャレンジデー2016」を二十五日に初めて開く。

対戦相手は秋田県上小阿仁村。県の中央部に位置し、人口は県内



で最少という二千二百人ほど。十一日には村長同士が電話でエールを交換し、「がんばりましょう」と健闘を誓い合った。写真（飛鳥村提供）。

敗れると相手の旗を飛鳥村役場に一週間掲揚しなくてはならないのがルールで、村は当日の参加を呼び掛けている。村内にいれば誰でも参加でき、運動の種類は問わず、十五分以上運動したら午後九時半までに村実行委に報告する。◎村実行委  
0567(52)3351

2016年5月21日 土曜日 中日新聞

## 主催

扶桑町チャレンジデー実行委員会 (会長 千田勝隆)  
教育委員会生涯学習課

〒480-0103 愛知県丹羽郡扶桑町大字柏森字平塚 370 番地  
扶桑町総合体育館

TEL : 0587-93-2441 FAX : 0587-93-2183

## 結果

人口 : 34,496 人  
参加者数 : 20,059 人  
参加率 : 58.1%  
取得メダル : 金

愛知県扶桑町 ●  
VS  
秋田県湯上市 ○

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①町内保育園・小中学校・高校チャレンジデー特別プログラム(町内各施設) 6,239 人
- ②お買い物ウォーキング(イオン扶桑店等) 2,990 人
- ③町長とラジオ体操(扶桑町総合グラウンド) 261 人
  - ・チャレンジデー 2016in 扶桑のオープニングイベントということで昨年に引き続き、扶桑町長と町民が一体となってラジオ体操と軽い運動を行いました。今年はいにくの天気でしたが、就任したばかりの新町長を筆頭に、多くの町民が参加するイベントとなりました。1日の指揮を高める良い機会となり、気持ちの良いスタートを切ることができました。
- ④踊り de チャレンジ(扶桑町総合体育館 第一アリーナ) 138 人
- ⑤空き缶積み上げ大会(扶桑町総合体育館 第一アリーナ) 80 人

## 【アスリート・著名人など】

北折 一(NHK「ためしてガッテン!」元担当ディレクター)

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/総合型地域スポーツクラブ/小学校(校長会)/中学校(校長会)/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ

## メディア

中日新聞/尾北ホームニュース/中部ケーブルネットワーク

## 広報・周知

昨年に引き続き、チラシ・ポスター・横断幕・駅でのティッシュ配りなどで広報活動をしました。特に今年は各種イベントを充実させ、NHK「ためしてガッテン!」元担当ディレクター北折一氏の健康講演会やあいち健康の森プラザ職員による体力測定を行い、老若男女気軽に参加できるイベントを企画しました。各イベントのチラシを作成し、ウェブサイトや地区回覧板を用いて、広く町民に周知することができました。

## 製作物

チラシ 15,000 枚/ポスター 100 枚/大型横断幕 1 枚/のぼり

80 本/懸垂幕 2 枚/Tシャツ 160 枚/ポケットティッシュ 8,000 個/投票箱 60 個/参加投票券 8,000 個

## 実施効果

- ・1日15分間の運動を日常生活に取り入れる事により、健康なまちづくりを目指すきっかけとなった他、健康講演会や体力測定、スロートレーニングなど通して自らの健康について考えるきっかけづくりとなりました。
- ・秋田県湯上市について関心が高まりました。
- ・サークル活動等を無料開放することにより新規会員募集のきっかけとなりました。

## 担当者から

チャレンジデーは、長期的に実施することにより成果が現れるイベントです。期間を設けてPRをするのではなく、年間を通してPRしていくことにより「チャレンジデー・15分間運動・健康づくり」という文言をいかに他のイベントに抱き合わせていくかが求められます。今回、各地区住民に対する投票率を算出した際、確実に浸透している地区やそうでない地区の温度差が見られました。その反面、浸透している地区では、独自のイベントを実施をする等確実に根付いてきています。今後は、それらのバランスを鑑み、周知していきたいと思えます。



周知活動



フォークダンス



25日(水)  
0:00~21:00

# チャレンジデーに参加を

扶桑町 vs 潟上市(秋田県)



チャレンジデーへの参加を呼び掛けるチラシ

「スポーツのチカラで、ふそを元気に」と、ことしも扶桑町は25日に開催される住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」(霞川スポーツ財団主催)に参加します。同町が全国一斉に行われるチャレンジデーに参加するのは3回目。ルールは、25日の午前0時から午後9時までの間に15分以上の運動やスポーツなどの身体活動をした住民の参加率を競うもの。敗れた場合、対戦相手自治体の旗を庁舎のメイポールに1週間掲揚するユニークなルールで、まちの威信と名誉をかけて戦います。

人口規模がほぼ同じ自治体が対戦相手。ことしは秋田県潟上市(人口3万3730人)。昨年の参加率は、同町67.4%、潟上市70.2%で、目標参加率80%を掲げて町民一丸となつての参加を呼び掛けます。同町内であれば自宅、学校、職場などどこでも、どんなスポーツでもよく、年齢、性別問わず、健康を意欲して体を動かせば、買い物や農作業、草むしり、犬の散歩などもOK。

当日は総合体育館、各学習者供用施設、総合グラウンド、緑地公園サイクリングロード、中央公民館などでバドミントンやソフトバレー、フットダンス、ヨガ、健康体操など、飛び入り参加ができる活動も予定され、オープニングイベントとして午前7時30分から総合グラウンドで町長とラジオ体操(自由参加)、文化会館では体力測定(9:00~12:00、13:00~16:00)、健康講演会(13:00~16:00、整理券配布)なども行われます。参加報告は午前8時30分から午後9時30分までに、総合体育館、役場、中央公民館、図書館、保健センター、福祉センター、各学習者供用施設、扶桑・柏森駅などに設置の回収箱に報告書を投函(報告書は回収箱設置箇所にも用意)するか、☎0587-2441または☎2911、FAX0587-2183へ、行政、民間団体、住民が一体となって取り組むスポーツイベント。実行委員会では多くの参加を呼び掛けています。

2016年5月13日 金曜日  
尾北ホームニュース

## 扶桑町 3年連続参加50%超



チャレンジデーにラジオ体操をする参加者ら＝扶桑町内で

2016年5月31日 火曜日  
中日新聞

**チャレンジデー**  
秋田・潟上市に健闘

同じ規模の自治体間で地元の実行委員会に土が、軽スポーツに参観する。扶桑町民は加した住民の人口に占ラジオ体操やバドミントンなどを競う「チャレンジデー」が二十五日あつた。扶桑町は流した。

秋田県潟上市に敗れたものの、三年連続で参加率50%を超えた。チャレンジデーは毎年五月の最終水曜に開かれる住民参加型のイベント。今年も市内の三市町村を含む全国の百十八自治体に参加した。同町は二〇一四年から参加している。各自治体で午前零時から午後九時までに十五分以上の運動をした住民が、ファクスなど。

(田中富隆)

両市町の人口はそれぞれ約三万四千人。扶桑町の参加者は58.1%、潟上市は59.6%。昨年の67.4%と同様に、50%を大きく上回った。

規定により、町役場各自治体で午前零時から午後九時までに十五分以上の運動をした住民が、ファクスなど。

## 扶桑町 58.1%参加

1人15分以上の運動「チャレンジデー」

住民総参加型スポーツイベントとして5月25日開催の「チャレンジデー」に参加した扶桑町では、人口3万4496人が対して2万0059人が参加し、参加率58.1%となりました。

1人15分以上運動した住民参加率を競うイベントで、対する秋田県潟上市(人口3万3730人)は参加率61.1%と惜敗した扶桑町。潟上市の市旗が1週間、同町役場に掲揚されました。

当日は小雨降る中、朝7時30分に総合グラウンドへ261人が集まって町長とラジオ体操II写真。バドミントン講習会や健康講演会、踊りdeチャレンジなど多種多様な種目に町民らが参加し、全国統一種目の空き缶積み上げ大会では3人30缶を積み上げたやろまい扶桑・笑舞1が優勝しました。

対戦相手には敗れたものの3年続けて参加者2万人台、参加率50%以上を達成してことしも金メダルを獲得した同町。同実行委員会では「今後も日常生活に運動を取り入れ、健康なまちを目指しましょう」と話します。

2016年6月3日 金曜日 尾北ホームニュース



町長とラジオ体操

## 主催

碧南市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 禰宜田政信)  
碧南市教育委員会 スポーツ課  
〒447-0853 愛知県碧南市浜町 2-3  
TEL : 0566-48-5311 FAX : 0566-42-8368

## 結果

人口 : 71,766 人  
参加者数 : 53,193 人  
参加率 : 74.1%  
取得メダル : 金

愛知県碧南市 ○  
VS  
香川県丸亀市 ●

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① ラダーゲッター・ポールウォーキング・軽体操 (油ヶ渚遊園地、臨海公園、明石公園) 700 人
  - ・時間を決めず、飛び入りで体験・参加できるという手軽なイベントで、へきなん総合型スポーツクラブや碧南市レクリエーション指導者協議会の方々を中心に行いました。朝から夜までと、長時間呼び込みすることで参加人数の増加につながったかと思えます。
  - また、手軽に出来るポールウォーキングについて地元のケーブルテレビの取材を受けたことで、ポールウォーキングに対する認知度・参加に好影響があったのではないかと思います。
- ② らくらく体操 (市内各区民館) 290 人
- ③ グラウンド・ゴルフ大会 (臨海公園) 284 人
- ④ 野球大会 (臨海公園グラウンド) 250 人
- ⑤ ソフトバレー講習会 (臨海体育館) 70 人

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 観光担当部署 / 社会福祉協議会 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / レクリエーション協会 / 総合型地域スポーツクラブ / 小学校 (校長会) / 中学校 (校長会) / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 高齢者団体・老人クラブ / 女性団体連絡協議会

## メディア

中日新聞 / KATCH / PitchFM

## 広報・周知

- ・市内駅前や、スーパーの店頭などで、ティッシュを配り PR を行いました。駅やスーパーに立つことで、より幅広い年齢層の方にチャレンジデーの PR ができたのではないかと思います。
- ・スポーツした市民が参加報告できる場が増えるよう、参加報告用紙と報告用紙投函箱を市内公民館等に設置したことで参加報告の増加につながりました。
- ・市内企業へ PR をしたことで、いくつかの企業からも参加報告がありました。

## 製作物

チラシ 4,000 枚 / ポスター 200 枚 / のぼり 40 本 / Tシャツ 373 枚 / ポケットティッシュ 16,000 個

## 実施効果

今回で 6 回目の実施となり、チャレンジデーを意識する市民が増えてきたように感じます。参加者からは、「運動をすることに関心を持たせるいい企画だと思う」「毎年楽しみにしている」などの意見をいただきました。しかしながら、普段からスポーツ施設を使用したり、自主的に運動を行っている方と比較すると、スポーツになじみの少ない主婦層や会社務めの方の認知度がまだまだ低いとも実感しました。

## 担当者から

- ・チャレンジデー周知に用いる Tシャツの納品が遅かったので、もう少し早いとありがたいです。PR のための着用期間が非常に短く、Tシャツ購入希望の方からは Tシャツの納品が遅いと多くの問い合わせがありました。
- ・当市では「目指そう週 1 回スポーツ実施率 60%」をスローガンに掲げています。チャレンジデーを機に、市民の運動に対する意識向上につながればよいと思います。



ポールウォーキング体験



忍者ランドで親子あそび

# チャレンジデー 碧南市3連覇



丸亀市旗を掲げて万歳三唱する禰宜田市長（中央）ら＝碧南市役所で

笹川スポーツ財団で万歳三唱し、丸亀市（東京）のイベント旗の掲揚で健闘に対し、自治体対抗で二十エールを送った。五日に開かれた健康イベント「チャレンジデー」で、香川県丸亀市を十五分以上した市民との対戦で勝った碧南市が地元自治体に報告市は二十六日、禰宜田市長（参加率）を競う。碧

南市は五万三千百九十三人が報告し、参加率は74・1％。人口規模が近いとして対戦相手となった丸亀市の68・1％を上回った。敗者の自治体が相手自治体の旗を一週間、掲揚する決まりだが、碧南市は敬意を払うため丸亀市旗を一日限定で掲げた。禰宜田市長は「チャレンジデーの認知度が上がり、楽しく運動する市民の姿が見られた。市民が普段から運動して健康になるような施策にも取り組みたい」と話した。碧南市の参加は六年目。今年で三連勝し、通算は三勝三敗。今年

## 健康イベント 敗者・丸亀の市旗掲揚しエール

2016年5月27日 金曜日 中日新聞



卓球

**主 催**

柏原市チャレンジデー実行委員会 (会長 中野隆司)  
柏原市教育委員会 教育部 スポーツ推進課  
〒582-8555 大阪府柏原市安堂町1-43  
TEL: 072-972-1689 FAX: 072-940-6120

**結 果**

人 口 : 71,270 人 大阪府柏原市 ●  
参加者数 : 51,896 人 VS  
参加率 : 72.8% 東京都昭島市 ○  
取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ① ゴミ0運動(柏原市内一円) 2,000人
- ② 市長と体操・ゲームをしよう!! (市役所前大和川河川敷公園) 500人
  - ・ オープニングイベントとして毎年開催しているプログラムであり、当日の「グラウンド・ゴルフ大会」に参加する方や、「みんなで元気!!」に参加する保育園児を中心に多くの市民が参加し、また、柏原市公認のマスコットキャラクター「かしびよん」も参加してイベントを盛り上げる中、柏原市チャレンジデー実行委員長の中野市長と参加者全員で「ラジオ体操」や「挨拶ジャンケンゲーム」をして体を動かす、という楽しいイベントです。
- ③ ニューススポーツ体験コーナー(リビエールホール) 350人
- ④ 保育園児対象「みんなで元気!!」(リビエールホール) 300人
- ⑤ チャレンジ杯グラウンド・ゴルフ大会(市役所前大和川河川敷公園) 110人

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/幼稚園・保育園/小学校(校長会)/中学校(校長会)/高等学校/大学・短大・高専・専門学校/PTA 連合会/高齢者団体・老人クラブ

**メディア**

NHK 大阪放送局

**広報・周知**

チラシを柏原市内の主要公共施設や小中学校に配付し、SSF提供のポスター(下段の空欄部分は当実行委員会で印刷)を柏原市内の主要公共施設や小中学校に掲示しました。

市のフェイスブックを活用し、前日及び当日にリアルタイムで情報を提供しました。

**製作物**

チラシ 30,000 枚/ポスター 300 枚/大型横断幕 1 枚/横断幕(その他) 2 枚/のぼり 30 本/Tシャツ 350 枚/ポケットティッシュ 1,000 個

**実施効果**

今回で9回目の開催となり、チャレンジデーが多くの市民に定着してきました。他市からのイベント参加者も多く、柏原市のアピールにつながっています。毎年、当日に吉本興業所属の大道芸のタレントさんと着ぐるみ(今年は「すち子」)の応援があり、今年も参加者から大きな喝采を受けました。保育園児対象のイベントでは、「幼児向けヒップホップ」講習に、今年も、柏原市公認のマスコットキャラクター「かしびよん」も参加する等内容を充実した結果、園児達が心から楽しんで踊り、会場が大いに盛り上がりました。

**担当者から**

チャレンジデー前日の5月24日にNHK大阪放送局から取材の申し入れがあり、多忙な状況ではありましたが、「チャレンジデー」というイベントと柏原市の知名度アップに繋がりたいという思いで、当日取材に来て頂きました。当日夕方の関西ローカルのニュースで放送され、テレビ放送を通じて、柏原市と、チャレンジデーのPRを図ることができたことについて、大変うれしく思っております。



保育園児イベント「みんなで元気!!」



ズンバ講習会

2016年5月  
広報かしわら5月号

# チャレンジデー 2016

5月25日(水)

午前0時～午後9時

対戦相手は **東京都昭島市**



昨年のオープニングイベントの様子

中上亜耶が来るよ!

▶チャレンジデーとは？

5月の最終水曜日に世界各地で実施されるスポーツイベントです。午前0時～午後9時に15分以上継続して運動などを行った住民の参加率(%)を同規模の自治体と競い合い、敗れた場合は対戦相手の市旗を庁舎のメインホールに1週間以上掲揚します。

▶ルール

「運動」とはスポーツはもちろん、掃除や洗濯・買い物など15分以上体を動かすこと。市内であれば自宅・公園などどこでもOK!

▶目的

平日でも心掛けと工夫次第で運動ができるきっかけづくりや、市民のコミュニティづくりやまちの活性化を目的とします。

▶参加方法

事前に報告して当日運動するか、当日運動して報告するだけ。このページをFAX(940-6120)またはチャレンジBOXに投函するか、電話(972-1689)で報告してください。

※参加率予想クイズのみの参加も可能。  
○チャレンジBOX設置場所  
市役所1階ロビー・オアシス・柏原オーエンスアリーナ・柏原オーエンス第二アリーナ・片山庭球場・堅下庭球場・柏原青谷オーエンスフィールド・柏原図書館・国分図書館

要 約	申込み 5月6日～20日の午前10時～午後5時にスポーツ推進課 ☎972-1689 まで(ウォーキング講座除く)
	<b>オープニングイベント 市長と体操・ゲームしよう!</b> 市長と体操、素敵な賞品あたるかも★かしびよんと、すち子の着ぐるみやマジックの中上亜耶が遊びに来るよ! とき 午前9時45分～ ところ 市役所前河川敷公園(雨天時:リビエールホール1階ロビー)
	<b>リビエールホール(レセプションホール)での講習会</b> ①フラダンス講習会 とき 午後6時～6時40分(先着30人) ②ズンバ講習会 とき 午後7時～7時40分(先着30人) ③パワーヨガ講習会 とき 午後8時～8時40分(先着30人)
予 約 不 要	<b>市役所前河川敷公園での大会など</b> ①チャレンジ杯グラウンドゴルフ大会 とき 午後1時～4時(参加賞あり、成績により後日表彰あり) ②ウォーキング講座(春)…詳細は39ページ
	<b>ニュースポーツ体験コーナー(ダーツ・輪投げ・吹矢など)</b> とき 午前10時～午後5時(参加賞あり) ところ リビエール前広場
有 料	<b>スポーツ施設半額デー</b> ①片山庭球場・堅下庭球場・柏原青谷オーエンスフィールド 申込み 5月11日午前9時から各施設で受付(申込み多数時抽選) ②柏原オーエンスアリーナ(トレーニング室・卓球室) 申込み 事前申込み不要、当日受付

問合せ 柏原市チャレンジデー実行委員会事務局  
柏原市教育委員会スポーツ推進課 ☎972-1689

(キリトリ)

## チャレンジデー 2016 報告用紙

どちらかに○をつけてください。	氏名	スポーツ・運動の内容
事前報告・実施報告	(他 名)	例…散歩・ジョギングなど

参加率予想クイズ★

参加率(参加者数を柏原市全人口で割った率)を予想してご応募ください。正解者の中から抽選で10人に賞品を、応募者全員から抽選で10人に記念品を差し上げます。

※参加は1人1回限り。当選発表は発送をもって代えさせていただきます。  
※柏原市は参加率60.5%以上を目標としています。

参加率    %  
※小数点第1位まで記入

氏名  住所

- イベント
- 子育て
- 教育文化
- スポーツ
- 安全環境
- 上下水道
- まちづくり
- 地域生活
- 財政税
- 国保年金
- 人権福祉
- 病院健康
- 募集
- 学ぶ
- 楽しむ
- 動く
- その他
- 相談
- 施設案内等
- まちの話題



市長と体操・ゲームをしよう!!



25日(水曜日)

・チャレンジデー2016  
オープニングイベントとして、市民の皆様と一緒に体操をしました(写真)。

柏原市 HP 市長行動記録

**主 催**

豊岡市チャレンジデー実行委員会 (委員長 中貝宗治)

豊岡市地域コミュニティ振興部 スポーツ振興課

〒668-8666 兵庫県豊岡市中央町2番4号

豊岡市役所

TEL: 0796-21-9023 FAX: 0796-29-0054

**結 果**

人 口: 84,761 人

兵庫県豊岡市 ●

参加者数: 70,008 人

VS

参加率: 82.6%

秋田県由利本荘市 ○

取得メダル: 金

**プログラム (太字: 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

## ① 玄さんとチャレンジデー(市役所前市民広場) 400 人

- 市役所前市民広場に、豊岡市のゆるキャラ「玄さん」が登場し、市民をはじめ市民球団の「NOMO クラブ」の選手の間も参加し、簡単な体操(今年はボクササイズ)を行いました。

## ② ロープ・ジャンプ・X大会(市役所前市民広場ほか) 194 人

## ③ スポーツごみ拾い(市内各所) 192 人

## ④ ポスチュアウォーキング(市民体育館) 84 人

## ⑤ 豊岡駅通りスタンプラリー(豊岡駅通り商店街) 81 人

**【アスリート・著名人など】**

NOMO ベースボールクラブ(2005 年全日本クラブ野球選手権優勝、都市対抗野球大会出場、2006 年社会人野球日本選手権大会出場)

**実行委員会の構成団体**

学校教育担当部署/健康づくり担当部署/県民局/国土交通省/スポーツ推進委員協議会/体育協会/総合型地域スポーツクラブ/小学校(校長会)/中学校(校長会)/商工会・青年会議所/社会福祉協議会/PTA 連合会/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ/婦人会

**メディア**

NHK 神戸放送局

**広報・周知**

昨年に引き続き、作業所とタイアップして、豊岡市独自の PR グッズを作成しました。

作業所の通所者の励みにもなり、市民の皆さんにチャレンジデーの PR ができたと共に、作業所の作品の PR にもなり、一石二鳥でした。

**製作物**

チラシ 40,000 枚/ポスター 200 枚/大型横断幕 3 枚/のぼり 150 本/Tシャツ 130 枚/カステラ 530 個/タオル 500 個

**実施効果**

今回 7 回目の実施となり、職員の着る T シャツを見て「体操する日だな!」と市民の皆さんの認知度も高くなっています。その中でも全国共通イベントに対する市民の方々の意欲が旺盛で、ロープ・ジャンプ・X 大会は、チャレンジデー当日までに各チームで練習会を行う等、チャレンジデー参加だけでなく、各チーム、職場でのコミュニケーションを図ることができ大いに盛り上がりを見せました。チャレンジデーは、会を重ねるごとに盛り上がりを見せ、市民にとって 1 年に 1 度のお祭りのような、心も身体もワクワクする参加型スポーツイベントとして定着しています。

**担当者から**

年に一度のチャレンジデー。7 回目ともなると市民の認知度は高くなるものの、慣れが出てきてしまい、積極的に報告する意欲が薄れてくる市民も出てきます。それを巻き返すために、PR やイベント参加依頼に力を入れ、意欲が薄れないように持つていくことにより、今回の参加報告を得ることができました。認知度は上がったとしても参加意欲を下げないようにすることは、なかなか難しいことだと実感しました。



Let's ウォーキング



スポーツごみ拾い

**チャレンジデー2016** 世界に向かってLET'Sチャレンジ!  
 今年はワールドチャレンジデーにも参加!

打倒! 秋田県由利本荘市

**5月25日(水)**  
 午前0時~午後9時

世界の対戦相手▶ オマーン王国 アル・シャルキア

チャレンジデー選手権大会参加者募集! それぞれ上位入賞者には賞品を運営!

<b>とよおか歩キンピック inチャレンジデー</b> 1日に歩いた歩数を競います	<b>スポーツゴミ拾い大会</b> 1チーム5名以内で1時間以内に拾ったゴミの重さを競います	<b>ロープジャンプX大会</b> 1チーム3名以上で、人数×跳んだ回数をポイントとして競います
--	---	---

**みんなで楽しくチャレンジデー!**

LET'Sウォーキング	出石観見ふれあい歩キング	神鷲周遊コースふれあい歩キング
竹野浜潮風ふれあい歩キング	玄さんとチャレンジデー	ポスチュアウォーキング
グラウンドゴルフ体験ミニ大会	ラージボール体験	豊岡駅通りスタンプラリー

15分以上継続して運動したら報告してください

下記内容を下記電話・FAX・メールでスポーツ振興課へ報告するか、参加報告書を集計BOXへ入れることで報告ください。集計BOXは各地区公民館・各振興局・スポーツ振興課等に設置します。

- ①団体名またはお名前
- ②参加人数… 名
- ③歩キンピック申告歩数(個人・団体)
- ④スポーツゴミ拾い大会…ごみの重さ
- ⑤ロープジャンプ X 大会  
…人数と跳んだ回数

※③~⑤は参加者のみ報告

各イベントはどなたでも参加していただけます。場所・時間など、詳細はお気軽にお問合せ下さい。

詳細のお問い合わせ・報告先 / 豊岡市地域コミュニティ振興部スポーツ振興課  
 TEL.0796-21-9023 FAX.0796-29-0054 email:sports@city.toyooka.lg.jp

2016年5月1日 日曜日 SPICE vol.310



ポスチュアウォーキング

**主 催**

広陵町チャレンジデー実行委員会 (委員長 山村吉由)  
教育委員会事務局 スポーツ振興課  
〒 635-0821 奈良県北葛城郡広陵町大字笠 382 番地 1  
広陵中央公民館内  
TEL : 0745-55-1181 FAX : 0745-55-9070

**結 果**

人 口 : 34,958 人 奈良県広陵町 ●  
参加者数 : 17,280 人 VS  
参加率 : 49.4% 神奈川県寒川町 ○  
取得メダル : 銀

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ①元気でオープニングイベント～ラジオ体操でスッキリ目覚めよう～(メイン会場の竹取公園及び町内各所) 1,904 人
  - ・今回のオープニングイベントは、町内全域を対象に同時刻の午前 6 時 30 分から町内一斉ラジオ体操(NHK ラジオ体操生放送)を実施しました。メイン会場の竹取公園をはじめ、町内区・自治会 41 大字にも依頼をしました。このようなことから、早朝にも関わらず、1,904 人という多数の人々に参加していただくことができ、予想以上の成果をあげることができました。
- ②介護予防リーダー KEEP による体操など(図書館会議室及び町内各所) 242 人
- ③チャレンジデーパークゴルフ(広陵パークゴルフ場) 183 人
- ④水井妃佐子氏によるバドミントン講習会(広陵中央体育館) 54 人
- ⑤広陵元気塾 動ける身体づくり～インターバルウォーキングのすすめ～(さわやかホール) 42 人

**【アスリート・著名人など】**

水井妃佐子(バルセロナ、アトランタオリンピックバドミントン競技日本代表)

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署/企画部/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/高等学校/大学・短大・高专・専門学校/商工会・青年会議所/社会福祉協議会/青少年健全育成組織/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ/婦人会/障害者団体/農業委員会/消防団/更生保護女性会/民生・児童委員協議会

**メディア**

奈良テレビ放送「ゆうドキッ!」/毎日新聞/奈良新聞

**広報・周知**

昨年同様に町内各種団体及び民間企業に町長等が出向き、協力依頼をしました。また、一般周知として、昨年以上にのぼりやポスターを増刷、それに内容をアレンジ(ルールや参加方法など内容が分かりやすいように)し、町内各所・全域に掲示することにより、多くの住民の目にとまるように工夫しました。

**製作物**

チラシ 14,000 枚/ポスター 300 枚/大型横断幕 1 枚/のぼり 100 本/Tシャツ 52 枚/B6 メモ帳(参加景品用) 3,000 個

**実施効果**

今年は、「町民の健康増進と昨年のリベンジ」を目標にチャレンジデーを実施させていただきました。昨年の課題など事前に検討し、挑戦させていただきました。惜しくも敗戦しましたが、オープニングのラジオ体操をはじめ、すべてのイベント(町主催・地域主催・各住民・各事業所など)を通じ、老若男女が一体となり大勢の人達に参加いただきました。このようなことから、世代交流を図ることができ、予想以上の成果をあげることができました。

**担当者から**

結果は、残念ながら敗戦しましたが、当初掲げた目標参加率は達成することができました。また、今年からチャレンジデーの担当課がスポーツ振興課になり、前担当課から引き継ぎを受けながら、周知方法や参加率アップなど検討しながら、準備を進めました。区・自治会や事業所への周知・依頼、それに職員の協力依頼など取りまとめが非常に難しかったです。しかし、各代表への説明やウェブサイト、Facebook 等に掲載及び町内全域にポスター・チラシ・のぼりで周知した結果、皆様に予想以上に協力していただくことができました。



オープニングイベント・町内一斉ラジオ体操 (メイン会場)



町内各学校・幼稚園・保育園の活動の様子



「チャレンジデー」神奈川・寒川町と対戦



インストラクターの指導でランニングマンを踊る参加者=25日、広陵町立の中央体育館

参加率、飛躍的アップ

笹川スポーツ財団は25日、住民の軽スポーツ参加率を競うイベント「チャレンジデー」を全国一斉に行った。県内からは広陵町が参加。神奈川県寒川町と競ったが、惜しくも敗れた。広陵町は、敗れた自治体が相手自治体の旗を掲げるメインボールに掲げるルールに従い、26日から1週間の予定で、町役場に寒川町旗の掲揚を始めた。

住民が軽スポーツ

このイベントは、同規模の自治体同士が午前0時から午後9時までの間、15分以上の軽スポーツに参加した住民の参加率を競う取り組み。住民の健康増進を目指す全国128自治体に参加した。広陵町は昨年、町政60周年を記念して初参加。こころは昨年の敗戦の雪辱を期し、2度目の挑戦となった。広陵町は、中央体育館や竹取公園でフログラムを用意して住民に参加を呼び掛け、同館では、人気ダンスユニット「J Soul Brothers」のランニングマンの振り付けをインストラクターから学べるメニューもあり、約40人の住民が参加した。

広陵町惜敗、リベンジならず

同町の集計では、制限時間内に1万7280人が何らかのスポーツに参加。昨年の27.4%から飛躍的に参加率を伸ばし、人口比で49.4%だった。しかし、対戦相手の寒川町は参加率53.2%。あと一歩及ばなかった。ダンスに参加した、小学4年生の吉田朋生君(9)は「振り付けが難しかった、同6年生の安芸珠綺さん(11)は「テンポの速い踊りで疲れた」と、笑顔で汗をぬくった。

2016年5月27日 金曜日 奈良新聞

水井妃佐子さん(左から2人目)のアドバイスを受けながらバドミントンの基本練習をする人たち=広陵町で



**チャレンジデー 広陵町が惜敗**  
県内で唯一参加  
全国一斉に運動に取り組む参加率を競う「チャレンジデー」が25日あった。県内から唯一エントリーした広陵町は1万7280人が参加し、参加率は49.4%。似た人口の自治体と対戦する仕組みで、神奈川県寒川町参加率53.2%に惜しくも敗れた。  
25日午前0時〜午後9時に15分以上体を動かした人数を合計。参加率は昨年の27.4%から大幅に上昇した。早朝から竹取公園をメイン会場に約40カ所でラジオ体操に取り組んだほか、広陵中央体育館ではバルセロナ、アトランタ両五輪のバドミントン日本代表、水井妃佐子さん(44)大和高田市IIによるバドミントン講習会もあった。水井さんは「生涯スポーツとしてバドミントンを楽しみ、続けてもらえば」と話していた。【藤原弘一】

2016年5月27日 金曜日 毎日新聞



馬見丘陵公園利用者への呼びかけ

## 主催

上富田町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 小出隆道)  
NPO 法人くちくまのクラブ

〒649-2105 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来 1361-2  
くちくまのほっとステーション内

TEL : 0739-47-5711 FAX : 0739-47-1139

## 結果

人口 : 15,521 人 和歌山県上富田町 ○  
参加者数 : 9,518 人 VS  
参加率 : 61.3% 秋田県仙北市 ●  
取得メダル : 金

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

### ①早朝ウォーキング(彦五郎公園) 100 人

- ・「町長と一緒に歩きましょう!!」と声かけをして行っているオープニングイベントです。

早朝にもかかわらず、スタッフ含め 100 名近い方が毎回参加してくれています。

会場の彦五郎公園では、「久しぶり!元気?チャレンジデーやね!」と参加者が声をかけあっています。

### ②ソフトバレー大会(岩田小学校体育館) 50 人

### ③ソフトボール大会(市ノ瀬若者広場) 50 人

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/健康づくり担当部署/  
福祉担当部署/観光担当部署/総務担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校(校長会)/中学校(校長会)/高等学校/特別支援学校/事業所・企業/社会福祉協議会/高齢者団体・老人クラブ/婦人会

## メディア

紀伊民報/和歌山放送ラジオ/FM ビーチステーション

## 広報・周知

今年は、昼間動けるスタッフが増えたことで、早くから横断幕、のぼりを設置、ポスターとチラシを持って学校、公民館、図書館などにお願いにいき告知する事が出来ました。

ただ、早くから告知することで、反対に混乱し、毎日がチャレンジデーになっていたという楽しいハプニングもありました。

## 製作物

チラシ 5,000 枚/ポスター 200 枚/大型横断幕 1 枚/のぼり 100 本/Tシャツ 80 枚/ポケットティッシュ 5,000 個

## 実施効果

チャレンジデーのポスターを掲示する前に、「今年のチャレンジデーはいつ?」「対戦相手決まった?」「早朝ウォーキングでスター

トやね!」等、みなさんの関心が増えつつあると感じます。

また、チャレンジデーで誘い合ってウォーキング、グラウンド・ゴルフに参加することで、仲間同士で何かをするきっかけになっています。



早朝ウォーキング



職員みなでかみとんだ体操



寺子屋の友だちと

# 上富田で運動しよう

## 25日、チャレンジデー

人口規模が似ている自治体同士が15分以上継続して運動やスポーツをした人の参加率を競う「チャレンジデー」が25日、全国である。県内で唯一参加する上富田町は、秋田県仙北市と対戦する。当日、町内にいる人なら誰でも参加できる。朝夕のウォークイベントや上富田スポーツセンターの無料開放もあり、参加率66%を目指している。

チャレンジデーは毎年5月の最終水曜に、住民が日常的に運動やスポーツを楽しむきっかけをつくらうと世界で開かれている。国内では笹川スポーツ財団（東京都）が主催し、今年は今全国130自治体が参加する。

午前0時～午後9時に15分以上運動やスポーツをした人が自治体に届け出て、人口（2月1日時点）で割って参加率を出す。上富田町は11回目の参加。町チャレンジデー実行委員会とNPOくまのクラブ（シーカ）が主催し、

広く参加を呼び掛けている。当日は午前6時から午後6時からの2回、誰でも参加できるウォーキングを同町生馬の彦五郎公園発着で開く。上富田スポーツセンターの各施設は無料で開放する。町内

の事業所や学校、施設などは「かみとんだ体操」をしたり、自転車や徒歩で通勤したりして協力する。

上富田スポーツセンターの利用希望者は事前の申し込みが必要。チャレンジデーの参加者は事前または当日にJR朝来駅舎内にあるシーカの事務所（電話0739・47・5711、ファクス0739・47・1139）へ届け出る必要がある。

2016年5月25日 水曜日  
紀伊民報

# 早朝ウォークに100人

## 上富田「チャレンジデー」



「チャレンジデー」で国道沿いのコースを歩く参加者  
(25日午前6時すぎ、上富田町で)

上富田町で25日、町内で15分以上運動した人の割合を県外の自治体と競う「チャレンジデー」があった。同町は県内で唯一の参加で、11回目。早朝には同町生馬の彦五郎公園を発着点にウォークイベントがあり、約100人が参加した。

笹川スポーツ財団が主催し、毎年5月の最終水曜に全国で開いている。今年は今全国130自治体が参加した。上富田町は秋田県仙北市と対戦、当日の午後9時までに運動やスポーツをした人を数えて人口で割り、参加率を競った。

上富田町では、NPOくまのクラブ（シーカ）や町などで行う実行委員会が主催して運営した。早朝ウォーキングの参加者は午前6時に彦五郎公園を出発し、約50分かけて国道311号沿いのウォーキングコースを往復した。岩田小学校3年の出羽蒼さん（9）は「面白かった。早起きして歩くのは気持ちいい」と話した。

目標とする参加率は66%。この日は上富田スポーツセンターと市ノ瀬体育館を開放し、団体ではグラウンドゴルフなどでの利用があった。町役場や町内の企業では、町独自の「かみとんだ体操」などをして体を動かした。熊野高校の「サポーターズリーダー」の生徒は24、25日の午後、町内の店舗前でチラシを配布してチャレンジデーへの参加を呼び掛けた。

シーカは25日午後9時までに、この日町内で15分以上運動した人（町外在住者も含む）からの報告を求めている。

2016年5月26日 木曜日 紀伊民報

# 参加率61.3%

## 上富田チャレンジデー

笹川スポーツ財団（東京都）は25日、15分以上運動した人の割合を全国の自治体間で競う「チャレンジデー」の結果をまとめた。県内で唯一参加した上富田町は同日、95.18人が運動し、参加率は61.3%。目標の66%には届かなかったが、同町と参加率を競った秋田県仙北市の51.8%を上回った。

上富田町は11回目の参加で、今回は雨の影響もあって過去最高だった前回の69.2%を下回った。町ぐるみで町内の運動を呼び掛け、町内の事業所は体操をするなどして協力した。

今年のチャレンジデーには全国128市町村が参加した。平均参加率は54.3%で、参加総数は292万3999人だった。

2016年5月27日 金曜日 紀伊民報

**主 催**

海士町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 山内道雄)

海士町教育委員会 地域共育課

〒 684-0403 島根県隠岐郡海士町大字海士 1490

TEL : 08514-2-1221 FAX : 08514-2-1633

**結 果**

人 口 : 2,354 人

参加者数 : 1,533 人

参加率 : 65.1%

取得メダル : 金

島根県海士町 ○

VS

沖縄県与那国町 ●

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

①スポーツ吹き矢大会(町内 5 ヲ所の公民館) 74 人

- ・ 公民館長に呼びかけて、希望のあった公民館でスポーツ吹き矢大会を実施。

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署 / 自治会・町内会

**広報・周知**

全町の防災無線放送を前回よりも 1 回多くしました。地域チャンネルにて放映されている運動番組の放送時間にあわせて、PR する無線放送を実施しました。

**製 作 物**

チラシ 1,100 枚 / ポスター 100 枚 / T シャツ 50 枚

**実施効果**

日々のスポーツのきっかけ作りに効果がありました。また、地区の公民館長がリーダーシップを発揮することで、コミュニティーの強化にも繋がりました。対戦相手の自治体との交流にも効果がありました。

**担当者から**

今回 13 回目の実施となった当町では、事業のマンネリ化が課題でした。今後は見直しやアイデアをだしつつ、実施していきたいと考えます。



地区でラジオ体操



中学校でスポーツ大会



スポーツ吹き矢大会

# チャレンジデーだより

平成28年第1号

第13回

5月25日(水)は、  
チャレンジデーです。

海士町では、日常的なスポーツの推進のため毎年チャレンジデーに参加しています。

## チャレンジデーとは？

- ・15分以上継続してスポーツをした住民の『参加率』を、全国の市町村で競争するイベントです。
- ・負けた市町村は、対戦相手の市町村の旗を一週間揚げ、相手の健闘をたたえる。

## 今までの戦歴は？

- ・今年で13回目のチャレンジ！
- 4勝8敗と負け越していますが、現在4連勝中！！

## 今年の特戦相手は、日本最西端の町！

沖縄県与那国町！！（人口1,490人）



## ★お願い！

15分の運動をしたら、報告をお願いします。

報告方法は裏面をご覧ください。

お問い合わせ先 海士町教育委員会 地域共育課 担当：松尾 TEL：2-1221

チャレンジデー PR 用チラシ

**主 催**

雲南市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 速水雄一)  
雲南市教育委員会 社会教育課  
〒 699-1392 島根県雲南市木次町里方 521-1  
雲南市役所

TEL : 0854-40-1073 FAX : 0854-40-1079

**結 果**

人 口 : 40,451 人 島根県雲南市 ●●  
参加者数 : 22,405 人 VS  
参加率 : 55.4% 秋田県北秋田市 ○  
取得メダル : 金 鹿兒島県南さつま市 ○

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ①ロープ・ジャンプ・X(市内各小中学校) 1,121 人
- ②雲南市グラウンド・ゴルフ大会(加茂中央公園多目的広場) 300 人
- ③だるまさんがころんだ in 雲南(加茂中央公園野球場) 40 人
  - ・健康づくり推進担当部局である「身体教育医学研究所」と協力して、雲南市のチャレンジデー広報キャラクター「チャレンジマン」と簡易ルールで「だるまさんがころんだ」を実施しました。今回は周知期間が非常に短く(約 1 週間)参加者数は振るいませんでしたが、子どもから高齢者までが楽しめる内容であること、短い周知期間でしたが反響が大きかったことなど、今後に期待ができると考えています。
- ④フィナーレイベント(加茂中学校体育館) 30 人

**【アスリート・著名人など】**

望月紀美子(ローマオリンピック・体操・女子団体 4 位)

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署／健康づくり担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／小学校(校長会)／中学校(校長会)

**メディア**

島根日日新聞／NHK 松江放送局／雲南夢ネット

**広報・周知**

チャレンジマンによる広報活動も 5 年目となり、市民の認知度もチャレンジデー同様あがってきています。今回は、チャレンジマンが各イベント会場を回るだけでなく、自らの企画によるイベントに挑戦しました。十分な周知ができず想定より参加者数は少なかったですが、反響をみると十分に来年の目玉になりうると考えています。

**製作物**

チラシ 13,000 枚／ポスター 160 枚／のぼり 4 本／Tシャツ 40 枚

**実施効果**

市民の声として、「1日のイベントにせず継続的な運動の先にあるイベントとして位置づけをもう一度考えるべき」という声もいただいております。運動の日常化の重要性を考える市民が増えてきている、と感じています。

**担当者から**

今回、参加者報告について十分に説明ができておらず、そのことでのご意見も複数いただきました。来年に向けて改善策を探ることはもちろん必要ですが、市民の皆さまの意識としてチャレンジデーを気にしていただける方も増えてきた、と感じています。



雨の中グラウンド・ゴルフ大会受付



雲南市空き缶積み大会



新緑を歩くウォーキング

# 市職員が空き缶積みめに挑戦

## チャレンジジデーで、雲南市

25日に全国で行われたチャレンジジデーで、参加自治体178団体の一つ、雲南市中では、スポーツ大会をはじめ体を動かすためのさまざまな催しがあり、市職員有志が空き缶積みめに挑戦した。

同市では毎年、雲南主催の「空き缶積み上げ大会」が開かれてお

り、昨年7月には15回記念大会が同市三刀屋町内であった。同大会は近年チャレンジジデーにも各地で取り入れられている。

市職員による空き缶積み大会は市役所の

車庫であり、9チーム36人が参加。空き缶積み上げ大会発案者の村松憲さん(同市木次町)の協力で、2種類の空き缶を直径80センチの円盤上に積み上げ、10分間に積んだ高さ

を競った。積み上げた缶が高くなると脚立を使って積み、缶が崩れそうなスリルも。参加者からは「にぎやかに楽しんでよかった」といった声が聞かれた。

同市の対戦相手は北秋田市と南さつま市。参加率は雲南が55・4%、北秋田が55・6%、南さつまが68・3%で、雲南は対戦には敗れた。参加率に応じて授与されるメダルは、3自治体とも金メダルだった。



雲南市職員による空き缶積み大会。25日、雲南市役所車庫

2016年5月27日 金曜日 島根日日新聞

**主 催**

赤磐市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 友實武則)  
赤磐市教育委員会 スポーツ振興課  
〒709-0816 岡山県赤磐市下市337  
TEL: 086-955-0738 FAX: 086-955-6060

**結 果**

人 口: 44,785 人 岡山県赤磐市 ●  
参加者数: 27,320 人 VS  
参加率: 61.0% 秋田県鹿角市 ○  
取得メダル: 金

**プログラム (太字: 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ①チャレンジデー開始宣言&体操(赤磐市役所本庁舎・各支所玄関前) 388人
- ②岡山シーガルズのストレッチ教室(赤磐市吉井武道館・赤坂体育センター2階サブアリーナ・山陽ふれあい公園総合体育館) 70人
- ③ソフトバレーボール大会(赤磐市吉井B&G海洋センターアリーナ) 210人
- ④空き缶積み上げ大会(山陽ふれあい公園総合体育館・くまやまふれあいセンタ) 65人

・今年より空き缶の積み方や脚立高さの制限等のルール改正があり、参加者や審査員にも戸惑いがありました。参加者全員が少しでも全国一番の記録を出そうと頑張り、昨年に近い記録が出ていました。参加者も最初は簡単に出来ていたようですが、やってみると難しさや楽しさを感じるように感じたとの声が聞かれました。

**【アスリート・著名人など】**

竹田麻衣・東 万純(女子Vプレミアムリーグ岡山シーガルズ所属選手) / 近藤沙織(女子Vプレミアムリーグ岡山シーガルズ所属トレーナー)

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署 / 議会 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / 総合型地域スポーツクラブ / コナミスポーツクラブ / 山陽ふれあい総合公園の指定管理者 / 小学校(校長会) / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ

**メディア**

山陽新聞東備版

**広報・周知**

ウェブサイトや市内スーパー店舗先でのティッシュ配布による街頭啓発や、防災無線や広報車両による市内全域への周知活動を行いました。

**製作物**

チラシ16,000枚 / ポスター170枚 / 大型横断幕2枚 / 横断幕

(その他) 4枚 / のぼり170本 / 懸垂幕4枚 / Tシャツ50枚 / ポケットティッシュ8,000個 / PR用チラシ17,000部

**実施効果**

チャレンジデー実施を通じて、市民自身が運動を継続して行う必要性を感じているように思います。

**担当者から**

毎年チャレンジデーを実施することにより、今年は参加率が昨年よりも向上し、より多くの市民へチャレンジデーを通じて運動の継続性が浸透しているように思います。来年も今年以上に市民参加率を上げて、市民の運動を通しての健康作りへ貢献できればと思っています。



エール交換



ラジオ体操



ソフトバレーボール



# チャレンジデー 赤磐の皆さん 25日は運動しよう

## 市が呼び掛け 施設無料開放や大会

### 運動した住民の割合を自治体間で競うイベント「チャレンジデー」

運動した住民の割合を自治体間で競う全国イベント「チャレンジデー」（笹川スポーツ財団主催）が25日に行われる。県南圏で唯一エントリーする赤磐市は、運動施設の無料開放や関連イベントを計画しており、市民に積極的な参加を呼び掛けている。（伊東圭一）

（伊東圭一）

チャレンジデーは、人口規模の球磨、体育館、多目的ホールなど近い自治体同士が、午前0時〜午後の約30施設を無料開放する。鹿角市は秋田県北東部にあり、人口約3万2千人。主産業は農業や林業で、秋田の郷土産物「さくらんぼ」発祥の地。今年度は4連勝中。今年も秋田県鹿角市と対戦する。運動施設は自由。赤磐市は参加率アップを目指し、25日は午前8時から市庁前でラジオ体操を行うほか、山陽のあひ公園（同市）や正徳や八幡やまはあひセンター（同市赤松）ではチャレンジデー公式競技（空き缶積み上げ大会）を開催し、市内のプールや野球場（0733）に市民の参加を呼び掛けている。

参加希望者は24日までに、市役所などにある「運動実施宣言カード」に氏名や運動内容などを記入し、回収箱に入れて意思を表示する。問い合わせは市スポーツ振興課（0886-0886-0800）に電話し、市庁舎内にある「チャレンジデー」のポスターを貼る。問い合わせ先は市スポーツ振興課（0886-0886-0800）。



チャレンジデーを前に、赤磐市の友実武則市長は13日、対戦する鹿角市の児玉一市長と電話でエール交換し、健闘を誓った。市長室で電話を受けた友実市長は「お互いに頑張らしましょう」とあいさつ。鹿角市の昨年の参加率が68%で、赤磐市の48.4%を上回っていること

### 市長同士が電話でエール

に触れ、「強敵だと感じている。市民に協力を呼び掛けるとともに、当日は私もソフトバレー大会に出場する」と意欲をみせた。赤磐市が桃やブドウの産地であることも紹介。児玉市長から「鹿角市でも川中島白桃の生産に力を入れている」と聞き、友実市長は「対戦を縁に、桃の消費拡大や海外展開で連携できれば」と応じた。（伊東圭一）

### 秋田・鹿角市と対戦



チャレンジデーのラジオ体操は、秋田県鹿角市の市民が25日、赤磐市庁舎前で参加した。

2016年5月14日 土曜日 山陽新聞

## あすチャレンジデー みんなで運動しよう

### 赤磐 シーガールズ選手PR



チャレンジデーへの参加を呼び掛ける泉選手（左）と梅崎選手

バレーボールV・プロリーグ女子の岡山シーガールズの選手が、20日、赤磐市下市のスパーにて、25日に行われるチャレンジデーへの参加を呼び掛ける。泉選手と梅崎選手が選手をPRしている。

協力。市職員3人と一緒にPR用のティッシュを配りながら、「25日はみんなで運動しよう」と訴えた。チャレンジデーは、人口規模に近い自治体同士が、特定の日に運動した住民の割合を競う。今年度は4連勝中。今年も秋田県鹿角市と対戦。25日は赤磐市内のプールや体育館など約30施設を無料開放する。問い合わせは市スポーツ振興課（0886-0886-0800）。

（伊東圭一）

2016年5月24日 火曜日 山陽新聞

## 秋田・鹿角市に敗れる

### 赤磐市 参加率は最高の61%

25日に行われた自治体同士で運動した住民の割合を競う「チャレンジデー」（笹川スポーツ財団主催）で、赤磐市は参加率が過去最高の61.0%に上った。7年連続でエントリーした赤磐市の参加率は上回った。

は、事前に「運動実施宣言カード」を提出した人と、カードを提出せず当日に市の特設電話に報告した人を含めて2万7320人。参加率は過去最高だった2012年の59.4%を上回った。友実武則市長は「負けたのは残念だが、市民の参加は広がっている。来年も挑戦したい」と話していた。市はルールに従い、27日から6月3日まで市庁舎に鹿角市の旗を掲げる。（伊東圭一）

2016年5月27日 金曜日 山陽新聞

**主 催**

新庄村チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 小倉博俊)  
新庄村教育委員会

〒717-0201 岡山県真庭郡新庄村 2014-2  
TEL : 0867-56-3178 FAX : 0867-56-3179

**結 果**

人 口 : 958 人 岡山県新庄村 ○  
参加者数 : 905 人 VS  
参加率 : 94.5% 北海道苫前町 ●  
取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ①早朝ウォーキング(新庄村内全域) 387人
  - ・早朝ウォーキングは、早朝6時から7時の間に、新庄村内に13カ所設置されたチェックポイントを目指して行われるウォーキングプログラムです。
  - 通勤や通学のため、他のプログラム参加の難しい村民の方にも気軽に参加して頂けるプログラムとして行っています。
  - 村民の方にとっては、「チャレンジデー＝早朝ウォーキング」と定着したプログラムとなっています。
- ②新庄村長杯ゲートボール大会(新庄村運動公園) 245人
- ③親子で歩こう! ゆりかごの小径(ゆりかごの小径) 58人
- ④中学校親子スポーツ(新庄中学校) 50人
- ⑤小学校交流スポーツ(新庄小学校) 49人

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 福祉担当部署 / 観光担当部署 / 総務担当部署 / 村役場 / スポーツ推進委員協議会 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ

**メディア**

読売新聞 / 山陽新聞 / 新庄村ケーブルテレビ

**広報・周知**

昨年より引き続き、近隣自治体に向けてイベントの広報・周知を行いました。ポスター掲示に加え、プログラムのチラシを配布したり、近隣自治体と合同で行われる会議の中でチャレンジデーについて告知するなど、参加の呼びかけを行いました。

**製作物**

チラシ 400 枚 / ポスター 60 枚 / 大型横断幕 1 枚 / のぼり 25 本 / Tシャツ 40 枚 / フェイスタオル 600 枚

**実施効果**

村民の方、保育所、小学校、中学校と社会福祉協議会や村内企業の皆様など、多くの方が「チャレンジデー」の趣旨を理解し、協力してくださっています。

村内最高齢 105 歳の方は、チャレンジデーの早朝ウォーキング

で歩くために、近所を散歩して体力づくりを続けておられます。「スポーツを楽しんで健康になりましょう」の目標を支えてくださっている村民の方に、改めて感謝をしつつ、「村民参加率 100%」を目指して、これからも取り組んでいきたいと思ひます。

**担当者から**

村民の方より、「今年のお戦相手は?」と尋ねられることも多く、自治体パンフレットを交換し、村民の皆様にご案内できる準備をしております。地域交流として、お戦相手の特産品を参加賞としてお配りすることもできました。今年はお熊本震災被害により、2自治体がお参加を取りやめられましたが、特産品を参加賞として協力するなど、支援の方法もあるのではないかとと思ひます。自治体同士のやり取りは、被災地のお迷惑になることもあるので、SSFにて取りまとめ頂くなど、お忙しいとは思ひますが御検討頂ければと思ひます。



早朝ウォーキング



小学校でドッジボール



笑顔でスポーツ

## チャレンジデー

2016

今年も5月最後の水曜日に、「チャレンジデー2016」が全国一斉に開催されます。

### 【実施日】

平成28年5月25日（水）

### 【対戦相手】

北海道 苫前町

### 【ルール】

5月25日（水）午前0時から午後9時の間に、新庄村内で15分以上継続して運動やスポーツをした方の参加率で勝敗を決めます。

対戦相手との勝負に負けた市町村は、対戦相手の旗を庁舎に1週間掲げます。

新庄村では恒例の早朝ウォーキングをはじめ多様なスポーツを行います。

村内での運動であれば、村民の方に限らず、どなたでも参加できますので、御親戚やご友人にもお声かけ頂き、皆さまの健康づくりと共に、自治体参加率日本一を目指しましょう。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

（教育委員会 平中）

2016年4月 広報メルヘンの里新庄 第410号



セラピーロードのウォーキングに参加した子どもら（新庄村で）

## スポーツ参加率 新庄村全国2位

### チャレンジデー

全国128自治体が住民らのスポーツ参加率を競った「チャレンジデー」で、県内からは新庄村と赤警市が出場し、同村は全国第2位の参加率を記録した。

午前0時～午後9時に15分以上、運動を続けた住民や観光客らの数を基に参加率を算出。5月25日に行われ、主催の笹川スポーツ財団が結果を公表した。

人口規模の似た自治体同士で競い合い、11度目の新庄村（人口958人）は北

海道苫前町（3321人）と対戦した。

毛無山（1219㍓）の「セラピーロード」を散策するウォーキングやゲートボール大会など9種目を用意。村外からも含めて905人が楽しみ、参加率94・5%で勝利した。

一方、赤警市（4万4785人）は秋田県鹿角市（3万2672人）に敗れたものの、参加率は61・0%で、赤警市として過去最高を達成した。

敗れた自治体は、勝者をたたえて対戦相手の旗を1週間掲げるのがルールだが、新庄村は苫前町の旗を掲揚し、健闘をたたえた。

2016年6月7日 火曜日 読売新聞

**主 催**

北広島町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 箕野博司)  
北広島町教育委員会 生涯学習課  
〒731-1595 広島県山県郡北広島町有田 1234 番地  
TEL : 050-5812-1864 FAX : 0826-72-0608

**結 果**

人 口 : 19,411 人  
参加者数 : 9,481 人  
参加率 : 48.8%  
取得メダル : 銀

広島県北広島町 ○  
VS  
秋田県三種町 ●

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

## ①ラジオ体操(町内全域) 3,162 人

- ・ラジオ体操は健康増進につながり、手軽に実施できるため、各々所の広場や職場で実施してもらい、大人から子どもまで幅広い方々に気軽に参加してもらえるイベントとなりました。また、当日の朝のラジオ体操放送をチャレンジデー特別バージョンに変える工夫をし、チャレンジデー実施意識を上げるようにしました。

## ②グラウンド・ゴルフ大会(町内各所) 367 人

## ③ロープ・ジャンプ・EX(町内小学校) 102 人

## ④ゲートボール大会(町内各所) 45 人

## ⑤空き缶積み上げ大会(豊平ウイング(豊平総合運動公園)) 31 人

**【アスリート・著名人など】**

どんぐり北広島(2015 全日本クラブ選手権優勝、2015 全日本女子団体選抜優勝)

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／総務担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／総合型地域スポーツクラブ

**メディア**

きたひろネット／中国新聞

**広報・周知**

昨年の秋から町の観光キャラクターであり、町民に親しまれている「花田舞太郎」をチャレンジデーのCMに起用しケーブルテレビで放映しました。この工夫により、チャレンジデーのことを思い出したという方が多く見受けられました。

また、中国新聞を利用したため、町以外の方にも広報することができ、町内在住の人のみならず町外からの参加が増えました。

**製作物**

チラシ 9,600 枚／ポスター 50 枚／Tシャツ 53 枚

**実施効果**

4 回目のチャレンジデー実施ということもあり、町民全体の認

知度が例年より上がったことが今回の勝利につながりました。チャレンジデーならではの町内各所で開催されるスポーツイベントに参加することにより、スポーツに対する新たな発見や、健康に対する意識向上、地域の中でのコミュニケーション活性化が得られました。

また、チャレンジデーに携わるスタッフにイベントや広報などの工夫を積極的にしようとする人や、町民にも来年のイベントを早速楽しみにしている方が増えているため、今後のスポーツ増進に期待が持てました。

**担当者から**

運動を日頃からしてみようと思われる方が増えたのではないかと感じました。ただ、目標としている55%に届かないのは、町民へのラジオ体操等イベントのアプローチが遅かったのではないかと思います。来年は早めのアプローチをし、イベントにつきまちは今回実施された自治体のイベントを参考に、町内が一体となって参加できる新たなイベントを企画しようと思いました。

最後に、町民の一人でも多くの方が健康に対する意識を高く持ち、日常的に運動することを習慣化できるきっかけづくりに、今後も取り組んでいきたいと思っています。



保育所活動



職場ラジオ体操

北広島町チャレンジデー2016

# チャレンジデー

チャレンジデーにご参加いただきありがとうございました

チャレンジデーにご参加いただきありがとうございました。残念ながら目標の55%（いけいけゴーゴー1）には届きませんでしたが、昨年度の参加率44.9%（参加総数：8,818人）を3.9%（参加総数で663人）も上回る事ができました。

また、僅差ではありますが秋田県三種町に勝利することができました。これで北広島町の勝率は2勝2敗で五分五分となりました。来年度も参加率・勝率を上げられるようご協力お願いいたします。

本当にありがとうございました。チャレンジデーだけでなく普段から体を動かし、「日本一元気な町・北広島町」を目指し頑張りましょう！！

## チャレンジデー参加率について

北広島町（総人口：19,411人）		vs	三種町（総人口：17,751人）	
12時現在	2,004人 10.3%		1,919人	10.8%
16時現在	3,951人 20.4%		4,448人	25.1%
最終結果	9,481人 48.8%		8,527人	48.0%

参加率速報および最終参加率については以下よりご覧いただけます。 [カテゴリ-3 \(10,000人~29,999人\)](#)

[笹川スポーツ財団ホームページ](#) クリック

## チャレンジデーとは

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている、住民参加型のスポーツイベントです。

運動した人の参加率（%）を対戦自治体と競い合います。

ルールは簡単!! 北広島町内なら、どこでも・どんな運動でも、連続15分以上からだを動かして報告するだけです!!

5月25日はチャレンジデー!!みんなで参加しよう!!



さんぽ



スイミング



テニス

どんな運動でもOK!

## 対戦相手

広島県  
北広島町

(人口：19,411人  
4回目の開催)

vs

秋田県  
みたねちょう  
三種町

(人口：17,751人  
4回目の開催)

北広島町 HP



集合写真

**主 催**

竹原市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 吉田 基)  
バンブースポーツクラブ

〒729-2313 広島県竹原市高崎町 1414

バンブー体育館

TEL : 0846-24-1001 FAX : 0846-24-1001

**結 果**

人 口 : 27,170 人

参加者数 : 14,107 人

参加率 : 51.9%

取得メダル : 銀

広島県竹原市 ●

VS

秋田県美郷町 ○

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

①グラウンド・ゴルフ大会(バンブー多目的グラウンド) 450 人

②小学生ミニサッカー大会(バンブー体育館) 250 人

③スポーツ無料体験会(バンブー体育館) 100 人

・シニア世代を対象にストレッチなどを取り入れ、ソフトスポーツを行いました。(ソフトバレーボール・卓球・ミニテニス・ビーチボールバレー) 一時間ごとにスポーツメニューを変えて半日楽しめるプログラムにしました。

④アニメたまゆら『スマホ DE フォトラリー』(バンブー公園内) 50 人

⑤トレーニングルーム(バンブー施設内) 50 人

**【アスリート・著名人など】**

西口広崇(1994 年極東・南大西洋障害者スポーツ大会(セスピック) 中国北京 バドミントンダブルス金メダル・シングルス銅メダル) / 大内寛文(元全日本代表ラグビー選手) / 土井康博(1992 年メルボルンハーフマラソン 55 歳~ 59 歳の部優勝)

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署 / 健康づくり担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / 総合型地域スポーツクラブ / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ

**メディア**

ケーブルテレビ

**広報・周知**

市内企業をまわり、ポスターの掲示やイベントの案内、ケーブルテレビの早い段階での告知放送、市内各戸配布用のチラシ(25,000)を4月、5月と2回、HPとFacebookでの告知案内と、各スポーツ教室参加者にチラシの配布、学校、公民館、公共施設などに、のぼり・ポスターの掲示をお願いし、また当日は、宣伝カーで案内をしました。結果、当日のイベントや無料教室への参加者増加につながりました。

**製作物**

チラシ 48,000 枚 / ポスター 300 枚 / 大型横断幕 3 枚 / 横断幕

(その他) 5 枚 / のぼり 40 本 / Tシャツ 50 枚

**実施効果**

スポーツ無料体験会に参加されたのがきっかけで、定期的に開催しているスポーツ教室に参加されるようになりました。

チャレンジデーの参加の呼びかけのポスターをいろんな箇所に掲示させてもらった事により、当クラブの存在自体を知の方が増えて問い合わせも増えました。

**担当者から**

チャレンジデーに合わせて大会や、イベントに取り組んで頂く事により、いきいきとした市民の方の姿を見る事で、参加者以上に実行委員関係者は元気を頂きました。市内全体からするとまだまだスポーツに興味、関心のない方がたくさんいらっしゃいますが、地元広島東洋カープ戦の勢いのように、スポーツを通じて元気な町でありたいと思います。日頃は、竹原市の総合体育施設を拠点に各種スポーツ教室を展開しています。誰でも気軽に参加出来る環境を常に提供し、市民の皆様に元気になっていただきたいと願っております。



スポーツ無料体験会



たまゆら『スマホ DE フォトラリー』

15分以上運動しよう

自治体間で競うチャレンジデー  
25日に竹原市参加

5月25日に行われるスポーツイベント「チャレンジデー」に竹原市が参加する。

チャレンジデーはスポーツによる住民の健康づくりを目的とした住民総参加型のイベント。毎年5月の最終水曜日に世界中で行われている。人口規模の近い自治体同士が対戦し、住民が運動・スポーツに参加した率で競う。竹原市のこれまでの戦績は3勝4敗で、8回目となる今回は秋田県美郷町と対戦する。

対象は竹原市内で運動をした人。当日、0時～21時の間に15分以上運動し、チャレンジデー実行委員会に報告すると参加になる。運動は、競技はもちろん、一入

で行うウォーキング（散歩）、ラジオ体操、ストレッチなども対象。

チャレンジデーに合わせて、同市高崎町の総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドではさまざまな体験会が行われる。10時からはノルディックウォーキング、16時からはヨガの無料体験会（どちらも要予約）。アニメたまゆらの舞台を撮影して回るフォトラリーが行われるほか、テニスコートと体育館内のトレーニングジムが終日無料開放される。

体験会の参加申し込み、チャレンジデーの問い合わせ、報告はチャレンジデー実行委員会のバンブー・ジョイ・ハイランド0846(24)1001へ、（小林）

2016年5月14日 土曜日  
ザ・ウィークリー・プレスネット

『チャレンジデー5/25（水）』（イクちゃんサービス参加店バンブー・ジョイ・ハイランド）

イクちゃんサービス参加店『バンブー・ジョイ・ハイランド』からお知らせ！

★『チャレンジデー5/25（水）』



バンブー公園内で、ストレッチ・卓球・ヨガ、アニメたまゆら「スマホDEフォトラリー」等々たくさんの無料体験会等のイベントが開催されるよ！

この機会に、いろんなことにチャレンジ！

【日時】5月25日（水） 時間はイベントにより異なります。

【場所】〒729-2313 広島県竹原市高崎町1414 バンブー・ジョイ・ハイランド

【お問合せ】0846-24-1004 バンブー体育館

詳しくはこちらから [チャレンジデー](#)

5月25日（水）「チャレンジデー」

「バンブー公園内イベント」参加者募集

- ★「バンブー体育館でスポーツ無料体験会」  
ストレッチ・筋肉トレーニング・バランスボール・介護予防体操  
卓球・ビーチボールバレー・ソフトバレー・ミニテニス
- ★初めてのの方に体験してほしい「ヨガ教室無料体験会」
- ★膝の負担が軽い「ノルディックウォーキング無料体験会」
- ★アニメたまゆら「スマホDEフォトラリー」in バンブー公園
- ★囲碁・将棋でお手合わせ「バンスポサロン」オープン
- ★バンブーテニスコート終日無料開放（ナイター有）
- ★バンブー体育館内トレーニングルーム終日無料開放



各イベントご参加下さい  
ただし予約の必要な  
ものもあります。  
詳細、お問合せ、  
参加申込み方法は  
TEL0846-24-1001  
バンブー体育館まで

2016年5月16日 月曜日  
イクちゃんネット



ミニサッカー大会

#### 主 催

三次市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 増田和俊)  
地域振興部 スポーツ課

〒728-8501 広島県三次市十日市中二丁目8番1号  
三次市役所東館4階

TEL : 0824-62-6553 FAX : 0824-62-6235

#### 結 果

人 口 : 54,577人 広島県三次市 ●  
参加者数 : 19,537人 VS  
参加率 : 35.8% 大分県宇佐市 ○  
取得メダル : 銀

#### プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①ノルディックウォーキング(みよし運動公園他市内各所) 700人
- ②スポーツ吹き矢(みよし運動公園他市内各所) 460人
- ③グラウンド・ゴルフ(みよし運動公園) 300人
- ④3B体操(三次市民ホール) 150人
- ⑤みよしどんちゃん(みよしまちづくりセンター) 80人
  - ・ 三次らしさを取り入れようと、三次の夏の風物詩で、市民になじみのある「みよしどんちゃん」の合同練習会を実施しました。

#### 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／総務担当部署／子育て・女性支援課／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／総合型地域スポーツクラブ／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会／指定管理者

#### メディア

中国新聞／三次ケーブルビジョン

#### 広報・周知

ポスター、チラシ、ケーブルテレビや、ポケットティッシュの配布などで5月25日(水)のアピールを行ったほか、「チャレンジメーター」による、運動の実践例の提案や、運動と健康の自己管理のきっかけを作りました。

#### 製作物

チラシ25,000枚／ポスター250枚／大型横断幕5枚／のぼり130本／Tシャツ120枚／ポケットティッシュ8,100個

#### 実施効果

住民自治組織には、自治活動として年間計画に取り入れていただき、周知や実施の報告に対して積極的に協力いただくとともに、独自イベントなども実施をしていただけるようになりました。また、個々で身体活動をした方の報告も多数あり、運動とチャレンジデーに対する意識が上がってきていると思います。

#### 担当者から

今年は、雨に見舞われ、参加率は大幅に減るのではないかと心配をしていましたが、実際にはわずかな減りでした。これは、天候などのコンディションが悪くても、個々が工夫して運動に取り組む姿勢ができていないのではないかと思います。次は、今回は参加できなかった方々が、どのようにすると参加が可能になるのかを研究し、参加率を上げていきたいです。



職員もチャレンジ



三次どんちゃん



3B体操